

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

No. _____

農 薬 抄 録

アゾキシストロビン

(殺 菌 剤)

(作成年月日)	平成 8年 7月25日
(改訂年月日)	平成11年 1月21日
(改訂年月日)	平成11年 5月20日
(改訂年月日)	平成11年 9月16日
(改訂年月日)	平成12年 9月13日
(改訂年月日)	平成14年 9月10日
(改訂年月日)	平成16年10月28日
(改訂年月日)	平成17年12月21日
(改訂年月日)	平成18年11月20日
(改訂年月日)	平成20年 5月26日
(改訂年月日)	平成21年 4月 2日
(改訂年月日)	平成22年 2月 3日
(改訂年月日)	平成23年 7月20日
(改訂年月日)	平成24年 7月24日
(改訂年月日)	平成25年 9月26日

(作 成 会 社) シンジェンタジャパン株式会社

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

目 次

	頁
I. 開発の経緯	g-1
II. 物理的・化学的性状	g-5
III. 生物活性	g-19
IV. 適用および使用上の注意事項	g-21
V. 残留性および環境中予測濃度算定関係	g-43
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	g-107
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	g-145
VIII. 毒性	
<毒性試験一覧表>	t-1
1. 原体	
1) 急性毒性	t-7
2) 眼および皮膚に対する刺激性	t-16
3) 皮膚感作性	t-18
4) 急性神経毒性	t-20
5) 90日間反復経口毒性	t-23
6) 反復経口投与神経毒性	t-37
7) 慢性毒性および発癌性	t-41
8) 繁殖性に及ぼす影響および催奇形性	t-84
9) 変異原性	t-128
10) 生体の機能に及ぼす影響	t-141
2. 原体混在物および代謝物の毒性	t-150
3. 製剤	
1. 製剤毒性	f-1
2. 参考資料（毒物および劇物評価用資料）	f-46
IX. 動植物および土壌等における代謝分解	
<代謝分解試験一覧表>	m-1
<代謝分解物一覧表>	m-7
1. 動物における代謝	m-12
2. 植物における代謝	m-40
3. 土壌における運命	m-77
4. 加水分解試験	m-106
5. 水中光分解試験	m-108
6. 土壌吸着試験	m-117
代謝分解のまとめ	m-122
アゾキシストロピンの動植物等における代謝分解経路図	m-126
代謝分解の概要表	m-127
付録：アゾキシストロピンの開発年表	a-1

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

1. 開発の経緯

アゾキシストロピンは、メトキシアクリレートを骨格に有する英国ゼネカ社が開発した殺菌剤である。アゾキシストロピンの特許は、当初の開発者であるICI社が取得し、ICI社が1990年に医薬・農薬部門をゼネカ社として分離独立させ、その後、2001年にノバルティス社農薬事業部門と合併しシンジェンタ社となった間にも、事業継承者により、事業とともに継承されている。

本化合物は、担子菌類（きのこ）から抽出された天然生理活性物質であるストロビルリンから誘導合成された。ストロビルリンは、ある種の糸状菌に対して抗菌活性を有することが知られていたが、化学的安定性に欠けていた。アゾキシストロピンは、ストロビルリンの抗菌活性を損なわずに安定性を改善すべく合成されたものである。

アゾキシストロピンの特徴は抗菌スペクトルが広いことであり、子囊菌門、担子菌門、不完全菌門などに属する多種類の菌類に対し、また鞭毛菌類についても強い抗菌活性を示す。この特性により、植物防疫上重要な各種作物の多くの病害に対してアゾキシストロピンは優れた効果を発揮し、各種製剤が幅広く使用されるようになった。本剤は稲のいもち病および紋枯病、小麦のうどんこ病、野菜類のうどんこ病、灰色かび病、べと病、疫病、菌核病および炭疽病、りんごおよびなしの黒星病、黒斑病、斑点落葉病およびうどんこ病、ぶどうの灰色かび病、黒とう病、べと病および晩腐病、芝草の葉腐病およびピシウムによる病害などに対して防除効果を有する。

本剤の開発は、ヨーロッパ諸国、米国およびわが国を中心にほぼ同時期に開始された。ヨーロッパ諸国においては、麦類およびぶどうの病害を防除する目的で、米国では芝生の病害防除を目的としてそれぞれ開発が進められた。現在は100カ国を超える諸外国で登録されているが、その登録状況を次表に示した。

わが国では、水稻の重要病害であるいもち病および紋枯病を同時に防除できる殺菌剤として 年より社内評価を開始し、ついで野菜および果樹など国内の主要作物の重要病害にも有効であることを確認してきた。また、 年から開始した日本植物防疫協会を通じた公的委託試験でも本剤の有用性が確認されている。1998年の農薬登録以来、広範な抗菌スペクトルを生かして30を超える各種作物で使用されている。

国内では2006年および2007年に食品安全委員会農薬専門調査会において評価され、いずれにおいてもラットを用いた慢性毒性発がん性併合試験の無毒性量18.2mg/kg/日を根拠として、安全係数100で除した0.18mg/kg/日をADIと設定された。

2008年にJMPRにおいてアゾキシストロピンが評価され、翌2009年にCodex MRLが設定された。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

諸外国におけるアゾキシストロピンの登録状況 (1/3) (2011年7月現在)

国名/地域	初回登録年月日	適用作物
アイルランド	1998年9月23日	アスパラガス、大麦、豆類、あぶらな科野菜類、にんじん、リーキ、オーツ麦、たまねぎ、ばれいしょ、なたね 他
アメリカ合衆国	1997年6月3日	アーモンド、アボカド、バナナ、大麦、ベリー類、あぶらな科葉菜類、鱗茎野菜類、にんじん、セルリー、かんきつ類、とうもろこし、うり科野菜類、なす、ぶどう、グアバ、葉菜類、根菜・塊茎類、まめ科野菜類、ライチ、マンゴー、オクラ、パパイヤ、パッションフルーツ、ピーマン、なたね、米、根菜・塊茎の茎葉類、大豆、核果類、いちご、タマリンド、トマト、ナッツ類、クレソン、小麦 他
アルゼンチン	1997年10月17日	大麦、豆類、にんじん、セルリー、うり科野菜、ぶどう、レモン、レタス、とうもろこし、マンダリン、たまねぎ、らっかせい、ばれいしょ、米、大豆、ほうれんそう、いちご、タバコ、トマト、小麦 他
英国	1997年4月4日	アスパラガス、大麦、豆類、ブロッコリー、芽キャベツ、キャベツ、にんじん、カリフラワー、ハーブ類、ケール、リーキ、オーツ麦、たまねぎ、ばれいしょ、ライ麦、小麦 他
イタリア	1997年4月24日	なす、大麦、ピーマン、きゅうり、メロン、かぼちゃ、米、てんさい、トマト、すいか、小麦、ズッキーニ 他
インドネシア	2002年1月20日	とうがらし、メロン、エシャロット、キャベツ、カカオ、かんきつ類、きく、とうもろこし、マンゴー、油やし、ばれいしょ、米、大豆、たばこ、トマト、芝 他
オーストラリア	1999年5月24日	アボカド、うり科野菜類、ぶどう、マンゴー、パッションフルーツ、ポピー、ばれいしょ、トマト、大麦、小麦、芝、綿類 他
オーストリア	1997年3月4日	アスパラガス、大麦、ライ麦、小麦、ブロッコリー、芽キャベツ、キャベツ、はくさい、にんじん、カリフラワー、ケール、リーキ、たまねぎ類、なす、ピーマン、セルリー、きゅうり、にんにく、わさびだいこん、とうもろこし、花き類、パセリ、豆類、サルシフィー、ほうれんそう、たばこ、トマト、ズッキーニ 他
オランダ	1996年11月22日	春大麦、冬大麦、ブロッコリー、芽キャベツ、にんじん、カリフラワー、結球あぶらな科葉菜類、ケール、リーキ、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、春小麦、冬小麦 他
カナダ	2000年5月19日	ぶどう、アスパラガス、大麦、赤かぶ、なたね、にんじん、おうとう、ひよこ豆、コリアンダー、朝鮮人参、ヘーゼルナッツ、わさびだいこん、豆類、とうもろこし、ばれいしょ、ラディッシュ、大豆、ほうてんそう、てんさい、たばこ、トマト、かぶ、小麦 他
韓国	1999年1月27日	りんご、きく、かんきつ類、朝鮮人参類、ぶどう、リコリス、もも、なし、かき、米、バラ類、やまのいも 他

諸外国におけるアゾキシストロビンの登録状況 (2/3)

国名/地域	初回登録年月日	適用作物
スイス	1996年12月5日	あんず類、アスパラガス類、大麦、ベリー類、にんじん、セルリアック、おうとう、チコリ、きく科野菜類、うり科野菜類、フェンネル、ホップ、わさびだいこん、コールラビ、リーキ、結球レタス、ゆり、メロン、たまねぎ類、パセリ、芝、プラム、ばれいしょ、かぼちゃ、ラディッシュ、なたね、米類、ライ麦、いちご類、トマト類、かぶ、小麦 他
スウェーデン	1997年6月3日	大麦、豆類、赤かぶ、ブロッコリー、芽キャベツ、キャベツ、はくさい、にんじん、カリフラワー、セルリー、にんにく、たまねぎ、ケール、コールラビ、リーキ、レタス類、オーツ麦、パセリ、かぶ、ばれいしょ、なたね、ライ麦、いちご、てんさい、小麦 他
スペイン	1998年1月16日	大麦、小麦、アーティチョーク、なす、うり科野菜類、にんにく、レタス、たまねぎ、とうがらし類、いちご、トマト、ぶどう
台湾	1997年5月7日	アボカド類、バナナ、キャベツ、かんきつ類、きゅうり、メロン、グアバ、マンゴー、たまねぎ、パパイヤ、なし、ばれいしょ、トマト、すいか、芝、らっかせい 他
チリ	2001年7月30日	アーティチョーク、ピーマン、ブロッコリー、芽キャベツ、キャベツ、にんじん、カリフラワー、セルリー、うり類、にんにく、豆類、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、トマト 他
中国	2001年4月9日	とうがらし、きゅうり、トマト、すいか、花卉類、芝、バナナ、綿 他
ドイツ	1996年4月4日	大麦、オーツ麦、ライ麦、てんさい、小麦、ピーマン、野菜類、芝、アスパラガス類、芽キャベツ、キャベツ、にんじん、カリフラワー、きゅうり、レタス類、花卉類、豆類、ばれいしょ、なたね、てんさい、トマト、ズッキーニ、ぶどう 他
ニュージーランド	1999年9月27日	大麦、とうもろこし、ばれいしょ、ライ麦類、小麦、ばれいしょ、ぶどう、たまねぎ、豆類、トマト
フィリピン	1999年4月20日	アスパラガス類、マンゴー、たまねぎ、トマト、すいか、バナナ、芝
ブラジル	1998年4月1日	なす、豆類、赤かぶ、ピーマン、にんじん、かんきつ類、綿、きゅうり、グアバ、マンゴー、メロン、たまねぎ、パパイヤ、ばれいしょ、いちご、トマト、すいか、 他
フランス	1997年7月24日	大麦、かぶ、ひよこ豆、レンズ豆、とうもろこし、オイルシード類、豆類、なたね、ライ麦、小麦 他
ベルギー	1997年1月27日	春大麦、冬大麦、フェンネル、レタス、ばれいしょ、ライ麦、かぶ、春小麦、冬小麦 他

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

諸外国におけるアゾキシストロピンの登録状況 (3/3)

国名/地域	初回登録年月日	適用作物
ポルトガル	1998年11月25日	大麦、にんじん、きゅうり、レタス、メロン類、たまねぎ、とうがらし類、米、いちご、トマト、小麦、ズッキーニ、なす、ぶどう
マレーシア	1998年11月1日	とうがらし、きく科類、グアバ、マンゴー、パパイヤ、米、スターフルーツ、トマト
南アフリカ	1996年7月22日	豆類、あぶらな科野菜類、とうもろこし、うり科野菜類、たまねぎ、とうがらし類、ばれいしょ、トマト 他
メキシコ	2007年8月23日	ベリー類、ブロッコリー、芽キャベツ、にんじん、カリフラワー、とうがらし、きゅうり、きく、にんにく、たまねぎ、花卉類、ぶどう、とうもろこし、、メロン、らっかせい、ばれいしょ、かぼちゃ、トマト、すいか 他
ロシア	2004年2月16日	穀類、大麦、ライ麦、小麦、きゅうり、ぶどう、トマト

II. 物理的・化学的性状

1. 名称および化学構造

(1) 一般名： アゾキシストロビン
azoxystrobin (ISO名)

(2) 別名： 商品名； アミスター、ヘリテージ（日本国）
Amistar（米国、オーストラリア、欧州、韓国等）、
Heritage（米国、オーストラリア、欧州、韓国等）、
Bankit（メキシコ）、Abound（米国等）、Quadris（米
国、欧州等）、Priori（ブラジル、欧州等）
試験名； ICIA5504、E5504

(3) 化学名： 和名； メチル=(E)-2-{2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-
4-イルオキシ]フェニル}-3-メトキシアクリラート
[農林水産省の表記法による表記]

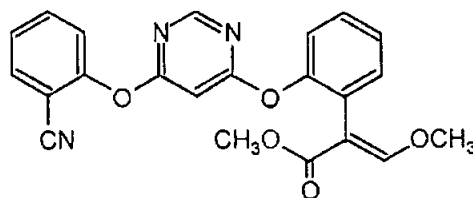
英名； methyl (E)-2-{2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yloxy]
phenyl}-3-methoxyacrylate

[IUPAC名]

methyl (E)-2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]-
 α -(methoxymethylene) benzeneacetate

[CAS名]

(4) 構造式：



(5) 分子式： $C_{22}H_{17}N_3O_5$

(6) 分子量： 403.4

(7) CAS No. : 131860-33-8

2. 有効成分の物理化学的性質

項目		測定値	測定方法	試験機関(報告年)	
外観・臭気		白色粉末状固体・無臭	官能法(色調、形状および臭気)	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
密度		1.25g/cm ³ (25℃)	比重ビン法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
融点		116℃	キャピラリー法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
沸点		345℃で分解するため測定不能	熱分析法	Zeneca社 ⁽²⁾ (2000年、GLP)	
蒸気圧		1.1×10 ⁻¹³ kPa(20℃)	気体流動法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
溶解度	水	6.0 mg/L 精製水(20℃)	カラム溶出法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
	有機溶媒	ヘキサン	0.057g/L(20℃)	フラスコ法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)
		トルエン	55g/L(20℃)	フラスコ法	
		ジクロロメタン	400g/L(20℃)	フラスコ法	
		アセトン	86g/L(20℃)	フラスコ法	
		メタノール	20g/L(20℃)	フラスコ法	
		酢酸エチル	130g/L(20℃)	フラスコ法	
		オクタン-1-オール	1.4g/L(20℃)	フラスコ法	
		アセトニトリル	340g/L(20℃)	フラスコ法	
解離定数 (pKa)		解離せず*	分光光度法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
オクタノール/水分配係数		log Pow: 2.5 (20℃)	フラスコ法	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)	
安定性	① 熱	25~150℃で安定	熱分析法	Zeneca社 ⁽²⁾ (2000年、GLP)	
	② 加水分解性	推定半減期 25℃ : pH5、7および9 で加水分解せず 50℃ : pH5および7で加水分解せず pH9での推定半減期は290時間	OECD 111	Zeneca社 ⁽²⁾ (1994年、GLP)	
	③ 水中光分解性	緩衝液 (滅菌) シアノフェニル環標識 12.5日 (30.90W/m ²) ピリミジン環標識 8.4日 (29.84W/m ²) フェニルアクリレート環標識 11.3日 (33.30W/m ²) (300~400nm)	2薬検955号	Zeneca社 ⁽²⁾ (1994年、GLP)	
	自然水および蒸留水	自然水 2.5日 (25.68W/m ²) 蒸留水 11.0日 (24.97W/m ²) (300~400nm)			

⁽¹⁾ : Imperial Chemical Industries Agrochemicals社 (現 Syngenta Crop Protection社)
Jealott's Hill Research Station (英国 Berkshire州 Bracknell) [英国GLP適合]

⁽²⁾ : Zeneca Agrochemicals社 (現 Syngenta Crop Protection社)
Jealott's Hill Research Station (英国 Berkshire州 Bracknell) [英国GLP適合]

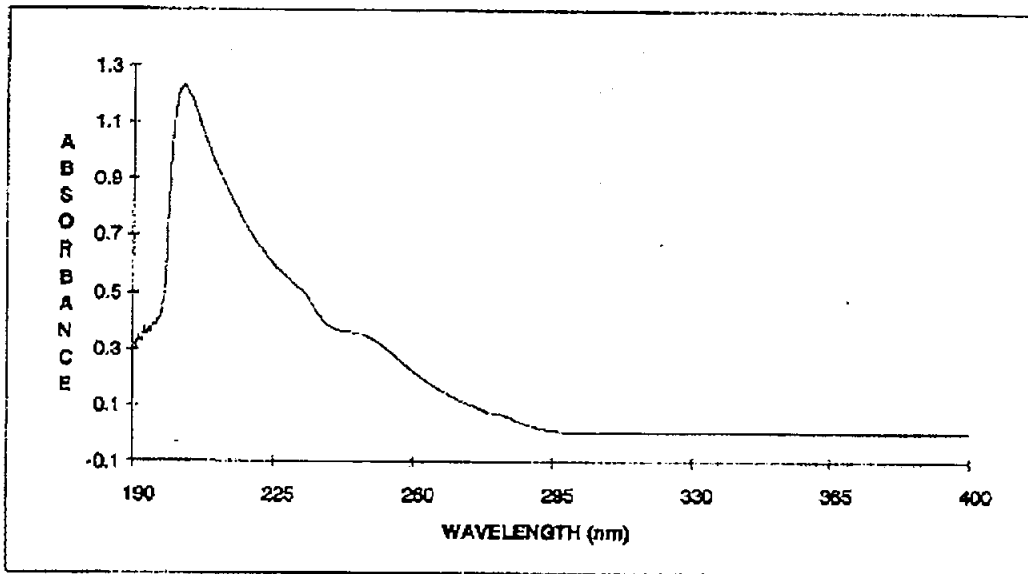
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

項目		測定値	測定方法	試験機関(報告年)
安定性	④ 土壌吸着係数	土壌名 K' K'oc (20±2°C)	OECD 106	Zeneca社 ⁽²⁾ (1995年、GLP)
		古川 150 4500 岡山 13 560 牛久 16 380 宮崎 4.3 270		
スペクトル		UV/VIS (図 1)	OECD 101	ICI社 ⁽¹⁾ (1993年、GLP)
		IR (図 2)、EI MS (図 3)、 ¹ H-NMR (図 4)、 ¹³ C-NMR (図 5)	測定用機器による測定	

- ⁽¹⁾: Imperial Chemical Industries Agrochemicals社 (現Syngenta Crop Protection社)
Jealott's Hill Research Station (英国 Berkshire州 Bracknell) [英国GLP適合]
- ⁽²⁾: Zeneca Agrochemicals社 (現Syngenta Crop Protection社)
Jealott's Hill Research Station (英国 Berkshire州 Bracknell) [英国GLP適合]

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図 1 : UV/VISスペクトル

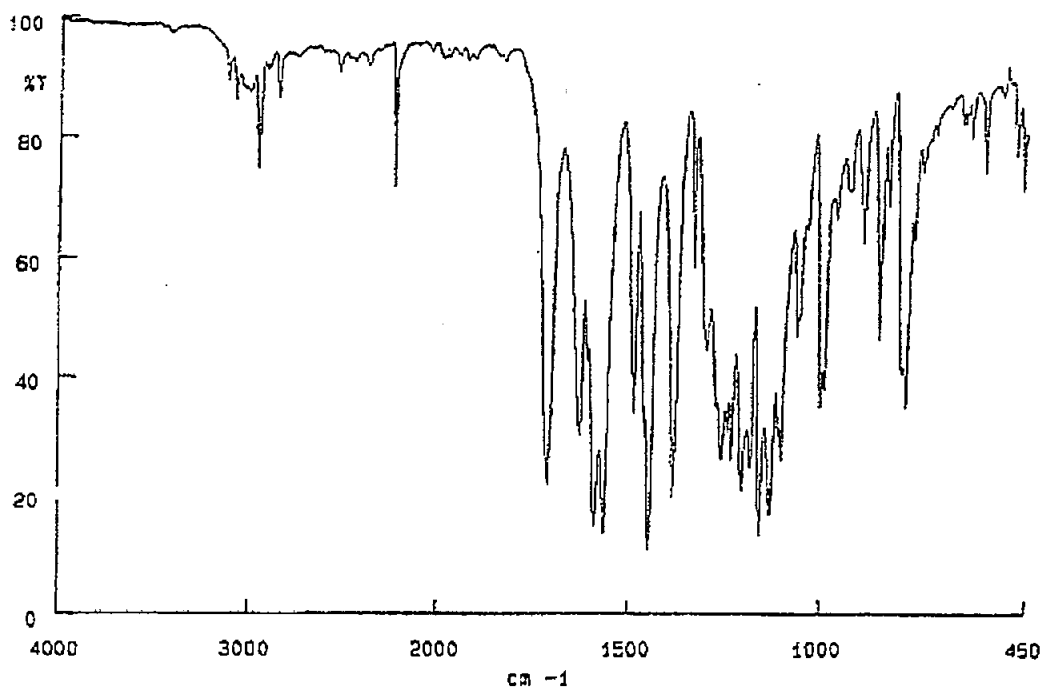


TEST SUBSTANCE	: ICIA5504 (Pure)	MOLAR CONC.	: 2.034×10^{-5}
REFERENCE	: ASJ10008-01S	TEMPERATURE	: 20 deg. C
SOLVENT	: METHANOL	INSTRUMENT	: PERKIN ELMER LAMBDA 17
REFERENCE	: METHANOL	SLIT	: 1 nm
CELL TYPE	: SILICA	SCAN SPEED	: 30 nm min ⁻¹
PATH LENGTH	: 1.0 cm	RESPONSE TIME	: 0.5 s
MOLECULAR MASS	: 403.4	OPERATOR	: G P WALTER
		DATE	: 9 JULY 1991

UV/VIS吸収データ

MOLAR CONCENTRATION (M)	2.034×10^{-5}	2.034×10^{-5}	1.017×10^{-5}
WAVELENGTH (nm)	202.6	242.7	295.0
ABSORBANCE	1.235	0.363	0.307
MOLAR ABSORPTIVITY (ϵ M ⁻¹ cm ⁻¹)	60700	17800	302
$\frac{1.235}{1 \text{ cm}}$	1500	441	-

図 2 : IRスペクトル



STUDY NUMBER	-
SAMPLE NAME	PURE ESS04
ANALYTICAL REF.	ASJ10008-01S
SAMPLE WEIGHT	0.5 % in KBr
SAMPLE PREPARATION	KBr disc
CELL TYPE	-
CELL PATHLENGTH	-
REFERENCE	AIR
INSTRUMENT	PERKIN ELMER MODEL 1725
RESOLUTION	4 cm ⁻¹
GAIN	1
APODISATION	NORMAL
SCAN SPEED	0.5 cm/s
OPERATOR	D.J.White
DATE	17/01/91

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

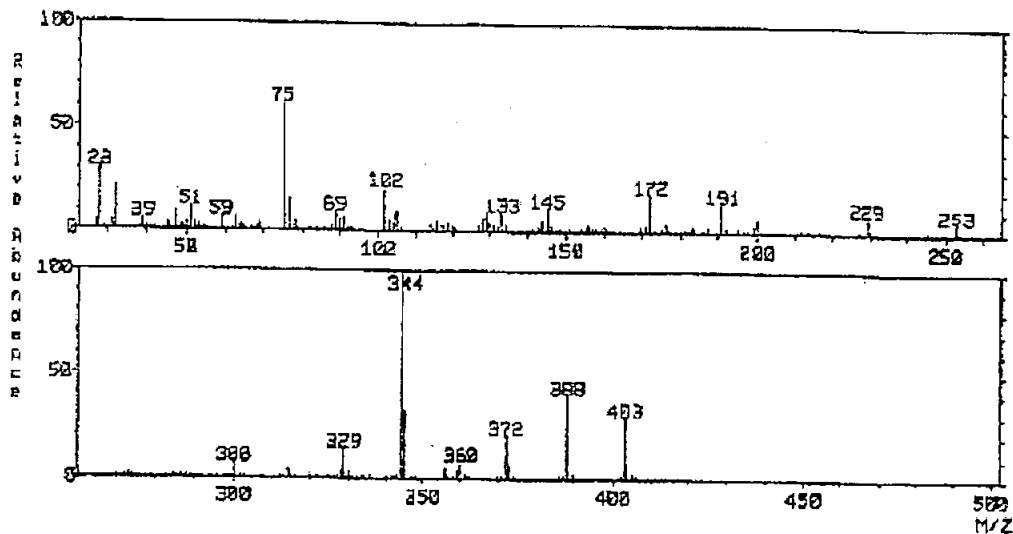
IRスペクトル (掃属)

WAVENUMBER (cm ⁻¹)	ASSIGNMENT
3110, 3068	C-H STRETCH, Aromatic
2992	C-H STRETCH, Vinyl
2950	C-H ASYM STRETCH, O-CH ₃
2849	C-H SYM STRETCH, O-CH ₃
2231	C≡N STRETCH, Nitrile
1709	C=O STRETCH, Ester
1626	C=C STRETCH, Vinyl
1606, 1588, 1563	C=C, C=N STRETCH, Pyrimidine, Aromatic
1458, 1445	C-H SYM, ASYM DEF, -O-CH ₃
1269, 1228	C-O-C STRETCH, Aryl Ethers
1256, 1155	C-O-C ASYM, SYM STRETCH, Ester
1201	C-O-C STRETCH, Vinyl Ether
955, 688	C-H, OUT OF PLANE BEND, Vinyl Ether

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

図3 : EI MSスペクトル

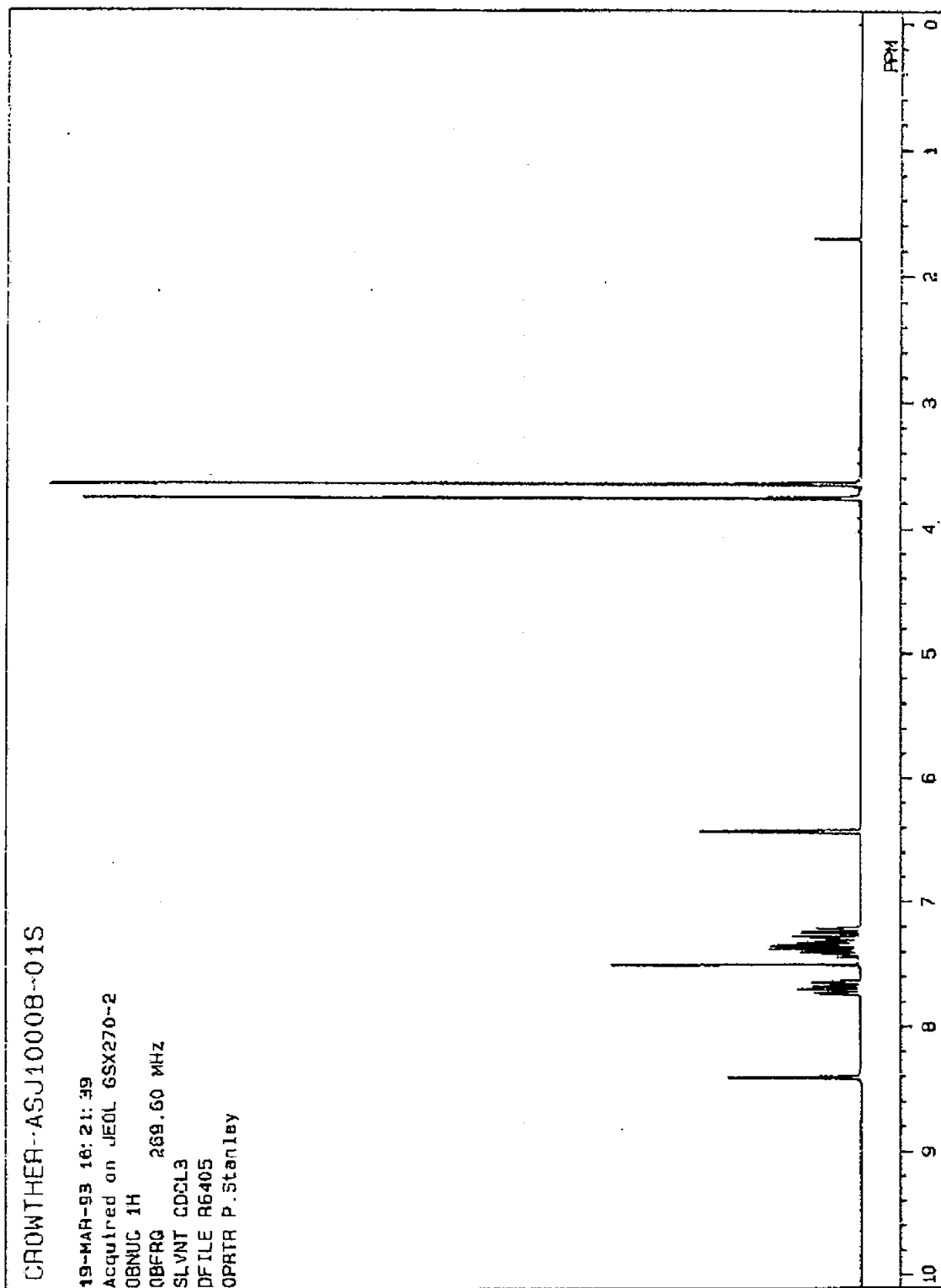
MASS SPECTRUM Data File: [100,100]R6405E1 17-JAN-91 12:56
 Sample: H. CROMTHER ASJ10006-015 R6405
 RT 2.42 EI/CI(Poss.) GC 12B.0c BP: m/z 344.0000 Int. 105.9653 Lv 0.00
 Scan# (28) - (1, 64) [coef. 1.00]



帰属

M/Z	Assignment
403	M ⁺
388	M-CH ₃
372	M-OCH ₃
344	M-CO ₂ CH ₃
191	
102	
75	(CH ₃ O) ₂ C ⁺ H

図4 : $^1\text{H-NMR}$ スペクトル

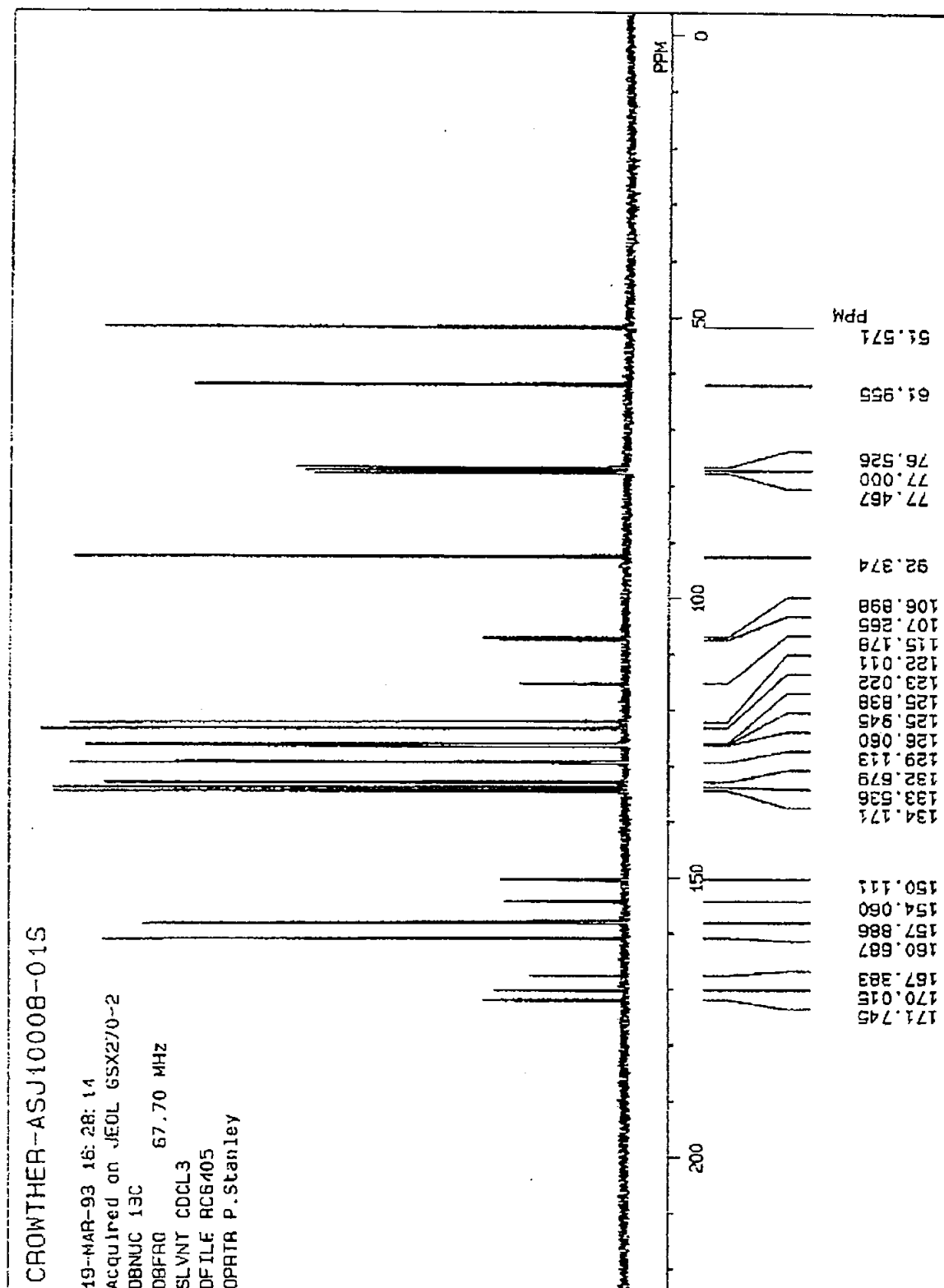


本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

¹H-NMRスペクトル (帰属)

Chemical shift (δ)	Description	Assignment
8.40 7.71 7.67 7.50 7.41-7.22	doublet (1H) J=0.8Hz double doublet (1H) J=7.8,1.6Hz double double doublet (1H) J=8.4,7.6,1.6Hz singlet (1H) complex multiplet (>6H)	pyrimidinyl 2-H phenoxy 3-H phenoxy 5-H acryl 3-H residual aromatic -H + chloroform (solvent)
6.42 3.75 3.64 1.70	doublet (1H) J=0.8Hz singlet (3H) singlet (3H) singlet (=0.2H)	pyrimidinyl 5-H acryl 3-OCH ₃ acryl 1-OCH ₃ water (ex solvent)

図 5 : ^{13}C -NMRスペクトル



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

¹³C-NMRスペクトル (帰属)

The chemical structure shows a central pyrimidine ring. At the 2-position, there is a phenoxy group with a cyano group at the para position. At the 6-position, there is another phenoxy group. At the 4-position, there is an acrylate group (CH₂=CH-C(=O)OCH₃).

Chemical Shift (δ)	Description (multiplicity assigned ex DEPT)	Assignment
171.74	s (singlet)	pyrimidine 4-C
170.01	s	pyrimidine 6-C
167.38	s	acryl 1-C
160.69	d (doublet)	acryl 3-C
157.89	d	pyrimidine 2-C
154.06	s	phenoxy 1-C
150.11	s	phenyl 1-C
134.17	d	phenoxy 5-C
133.54	d	phenoxy 3-C
132.68	d	phenyl 5-C
129.11	d	phenyl 3-C
126.06	d	phenoxy 4-C
125.94	s	phenyl 2-C
125.84	d	phenyl 4-C
123.02	d	phenoxy 6-C
122.01	d	phenyl 6-C
115.18	s	Ar-CN
107.26	s	acryl 2-C
106.90	s	phenoxy 2-C
92.37	d	pyrimidine 5-C
61.95	q (quartet)	acryl 3-C-OCH ₃
51.57	q	acryl 1-C-OCH ₃

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値又はレンジ
有効成分	アゾキシストロビン	メチル-(E)-2-〔2-[6-(2-シアノフェニル)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリレート		C ₂₂ H ₁₇ N ₃ O ₅	403.39		
原体混在物							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値又はレンジ
原体混在物							

4. 製剤の種類および組成

- | | | | |
|-----|-----|--------------------|--------|
| (1) | 種類： | アゾキシストロビン水和剤 | |
| | 名称： | ヘリテージ顆粒水和剤 | |
| | | アゾキシストロビン----- | 50.0 % |
| | | 鋳物質微粉、界面活性剤等----- | 50.0 % |
| (2) | 種類： | アゾキシストロビン水和剤 | |
| | 名称： | アミスター20フロアブル | |
| | | アゾキシストロビン----- | 20.0 % |
| | | 水、界面活性剤等----- | 80.0 % |
| (3) | 種類： | アゾキシストロビン水和剤 | |
| | 名称： | アミスター10フロアブル | |
| | | アゾキシストロビン----- | 10.0 % |
| | | 水、界面活性剤等----- | 90.0 % |
| (4) | 種類： | アゾキシストロビン水和剤 | |
| | 名称： | アミスターエイト | |
| | | アゾキシストロビン----- | 8.0 % |
| | | 水、界面活性剤等----- | 92.0 % |
| (5) | 種類： | アゾキシストロビン粒剤 | |
| | 名称： | アミスター粒剤15 | |
| | | アゾキシストロビン----- | 1.5 % |
| | | 鋳物質微粉等----- | 98.5 % |
| (6) | 種類： | フィプロニル・アゾキシストロビン粒剤 | |
| | 名称： | アミスタープリンス粒剤 | |
| | | アゾキシストロビン----- | 6.0 % |
| | | フィプロニル----- | 1.0 % |
| | | 鋳物質微粉等----- | 93.0 % |
| (7) | 種類： | アゾキシストロビン粉剤 | |
| | 名称： | アミスター粉剤DL | |
| | | アゾキシストロビン----- | 0.60 % |
| | | 鋳物質微粉、凝集剤等----- | 99.4 % |
| (8) | 種類： | アゾキシストロビン・TPN水和剤 | |
| | 名称： | アミスターオブティフロアブル | |
| | | アゾキシストロビン----- | 4.8 % |
| | | TPN----- | 40.0 % |
| | | 水、界面活性剤等----- | 55.2 % |
| (9) | 種類： | アゾキシストロビン粒剤 | |
| | 名称： | ユニフォーム粒剤 | |
| | | アゾキシストロビン----- | 2.0 % |
| | | メタラキシルM----- | 1.0 % |
| | | 水、界面活性剤等----- | 97.0 % |

III. 生物活性

1. 活性の範囲

本剤は、べん毛菌類、子囊菌門、担子菌門あるいは不完全菌類に属する主要な植物病原菌に対して抗菌活性を示す。現在までに国内および海外における基礎的活性評価および実用性評価によってその効果が確認されている病害には、べん毛菌類によるべと病、疫病、および苗立枯病、子囊菌門によるうどんこ病、菌核病、黒星病、つる枯病、輪紋病、担子菌門による赤星病、さび病、雪腐病などがある。また、多くの植物病原菌が属する不完全菌類では、炭疽病、黒斑病、斑点落葉病、灰色かび病、稲の紋枯病、いもち病およびごま葉枯病等に有効である。各種植物病原菌に対する本剤の有効性を表1に示す。

2. 作用機作

アゾキシストロピンはストロビルリン系殺菌剤である。ストロビルリン系殺菌剤は、エネルギー生成に重要な役割を果たしているミトコンドリアの電子伝達系に対して阻害作用を示す。電子伝達系を阻害する殺菌剤としてはカルボキシアミド系殺菌剤が知られているが、この薬剤は、電子伝達系の中でコハク酸-CoQリダクターゼ間の電子伝達を阻害する。ストロビルリン系殺菌剤はカルボキシアミド系殺菌剤と異なり、チトクロームbc₁複合体を阻害することが既に明らかとなっている。

チトクロームbc₁複合体の中でチトクロームbからc₁への電子伝達を媒介するのはユビキノンであり、キノンからヒドロキノンに還元された後、順次、電子を渡していく。ストロビルリン系殺菌剤は、ユビキノンと拮抗して阻害活性を現すのではなく、チトクロームbc₁複合体のQ_o部位に結合することで電子伝達を阻害することが明らかにされている。

3. 作用特性と防除上の利点等

本剤は、植物病原菌の呼吸を阻害することによって、植物体への感染経路において次の作用を示すことが確認されている。

- 1) 病原菌胞子の発芽阻害
- 2) 菌糸の植物細胞表面における進展阻止
- 3) 付着器、吸器の形成阻止
- 4) 胞子形成阻害

すなわち本剤は、病原菌が植物に付着してから、植物体内に侵入して病原性を発揮するまでの様々な場面において抗菌作用を示すため、予防的にも治療的にも使用することができる。

本剤の適用範囲は、水稻、小麦、果樹、野菜、芝など国内の主要作物の多くの重要病害に及ぶ。水和剤（フロアブル）および粉剤（DL）の茎葉散布による使用法が中心であるが、水稻においては、本田散布および育苗箱処理など浸透移行性の特性を活かした使用法が採用されている。

表 1. 各種植物病原菌に対するアゾキシストロビンの有効性

分類/病原菌名	作物および病名	
鞭毛菌類	ツユカビ科	うり類、ぶどう、たまねぎ、はくさいのべと病
	フハイカビ科	ばれいしょ、トマト、うり類の疫病 稲、各種野菜の苗立枯病 (<i>Pythium spp.</i> による)、 芝草の赤焼病
子囊菌門	ウドンコカビ科	各種果樹、野菜および小麦のうどんこ病
	ポリスチグマ科	ぶどうの晩腐病
	キンカクキン科	もも、おうとうの灰星病、野菜、豆類の菌核病
	エルシノエ科	かんきつのそうか病、ぶどうの黒とう病
	ペンツリア科	りんご、なしの黒星病
	コタマカビ科	うり類のつる枯病
	ドチオラ科	りんご、なしの輪紋病
担子菌門	ブクニア科	りんご、なしの赤星病 小麦、ねぎのさび病
	ツノタンシキン科	稲の紋枯病
	シロソウメンタケ科	小麦、芝草の雪腐小粒菌核病
不完全菌門	アスコキータ	なすの輪紋病
	コレトリキウム	うり類、いちごの炭疽病
	ホモブシス	もものホモブシス病
	グロエオデス	りんごのすす斑病
	フザリウム	麦類の赤かび病
	ペニシリウム	かんきつ青かび病、緑かび病
	アルタネリア	りんごの斑点落葉病、トマトの輪紋病、なすの褐斑病
	コリネスボラ	きゅうりの褐斑病
	ヘルミントスポリウム	稲のごま葉枯病
	ボトリティス	果樹、野菜、豆類の灰色かび病、たまねぎ白斑葉枯病
	サーコスボラ	てんさいの褐斑病
	フルビラ	トマトの葉かび病
	ピリキュラリア	稲いもち病
	マイコベラシェラ	なすのすすかび病
	シュードサーコスボラ	ぶどう褐斑病
	ジコフィアラ	りんごすす点病
	クラドスポリウム	もも、おうとうの黒星病
	リゾクトニア	芝草の葉腐病 (ラージパッチ/ブラウンパッチ)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

IV. 適用および使用上の注意

1. 適用作物の範囲および使用方法

(1) ヘリテージ顆粒水和剤 (アゾキシストロビン47.0%*)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
芝 (日本芝)	葉腐病 (ラージパッチ)	3000～4000倍	発病初期	8回 以内	1㎡当り 200～500m L散布	8回以内
		800倍			1㎡当り100 mL散布	
		400倍			1㎡当り50 mL散布	
	疑似葉腐病 (春はげ症)	3000～4000倍	休眠期前		1㎡当り500 mL散布	
	フェアリーリング病	2000倍	発病初期			
立枯病 (ゾイシアデクライ ン)	3000～4000倍					
芝 (ベントグ ラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ)	800倍	発病初期	1㎡当り100 mL散布		
		400倍		1㎡当り50 mL散布		
		赤焼病		3000～4000倍	1㎡当り500 mL散布	
	ピンウム病	4000倍				
	フェアリーリング病	2000倍				
	紅色雪腐病	3000～4000倍	根雪前			

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン50%製剤と同一製剤である。

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病	原液	4~8mL/乾燥種子 1kg	は種前	1回	種子吹き付け処理	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
	株腐病		8mL/乾燥種子 1kg			塗沫処理	
	うどんこ病 赤さび病	2000~3000倍	100~200L/10a 100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	紫斑病	16~24倍	800mL/10a		2回以内	無人ヘリコプターによる散布	2回以内
	えだまめ	べと病	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
きゅうり	うどんこ病 べと病	1500~2000倍	100~300L/10a		4回以内		4回以内
	灰色かび病 菌核病	1500倍			2000倍		3回以内
	にがうり	うどんこ病 べと病 炭疽病		2000倍			
うり類(漬物用)	うどんこ病 つる枯病 べと病 炭疽病	1500~2000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
メロン	うどんこ病 つる枯病 べと病	2000倍		収穫前日まで			
すいか	つる枯病 炭疽病						
トマト	葉かび病 灰色かび病		2000倍		収穫3日前まで	3回以内	3回以内
なす	うどんこ病 すすかび病						
葉たまねぎ	灰色腐敗病 べと病	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	4回以内	4回以内	
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病			4回以内			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%) (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
ねぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病	2000倍	100~300L/10a	収穫3日前まで	4回以内	散布	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
わけぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病			収穫7日前まで			4回以内
あさつき	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病			収穫3日前まで			4回以内
にら	白斑葉枯病			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
にんにく	さび病 葉枯病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
はくさい	べと病 黒斑病 白さび病	2000~3000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
	白斑病						4回以内
レタス	菌核病 灰色かび病 べと病 すそ枯病	2000倍	3L/m ²	収穫30日前まで	2回以内	土壌灌注	4回以内(土壌灌注は2回以内)
	ビッグベイン病						
非結球レタス	菌核病 灰色かび病 べと病	2000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
キャベツ	菌核病 株腐病			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
ブロッコリー	べと病			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
非結球あぶらな科葉菜類 (こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずなを除く)	白さび病			2000倍	100~300L/10a		収穫7日前まで
みずな こまつな チンゲンサイ タアサイ		3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)					

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%) (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	アゾキシスト ロビンを含む 農薬の総使用 回数
いちご	うどんこ病	1500～ 2000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	苗床： 4回以内	散布	7回以内(苗床 では4回以内、 本圃では3回 以内)
	炭疽病	2000倍					
	灰色かび病	1500倍			本圃： 3回以内		
	うどんこ病	1500～ 2000倍					
	炭疽病	2000倍					
	灰色かび病	1500倍					
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000倍			4回以内	4回以内	
てんさい	葉腐病 褐斑病	1500倍		収穫14日 前まで	3回以内	苗床灌注	4回以内(灌注 は1回以内、散 布は3回以内)
	根腐病	1500～ 4000倍	ペーパー ポット1冊 当り1L (3L/m ²)	定植前	1回		
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌 による) もち病	2000倍	100～400 L/10a	摘採14日 前まで	3回以内	散布	3回以内
エンダイブ	菌核病			収穫21日 前まで	1回		1回
らっきょう	さび病			収穫3日 前まで	3回以内		3回以内
パセリ	うどんこ病		100～300 L/10a	収穫45日 前まで	1回		4回以内(粒剤 は3回以内、水 和剤は1回以 内)
みつば	灰色かび病			収穫14日 前まで 但し、伏 せ込み栽 培は伏せ 込み前ま で			1回

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%) (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	アゾキシスト ロビンを含む 農薬の総使用 回数	
みょうが (花穂)	紋枯病	2000 倍	3L/m ²	収穫3日前ま で	2回以内	土壌灌注	4回以内(粒剤は 2回以内、水和 剤は2回以内)	
みょうが (茎葉)				みょうが(花 穂)の収穫3 日前まで 但し、花穂を 収穫しない 場合にあって は開花期 終了まで				
しそ	斑点病 さび病	2000 倍	100~300 L/10a	収穫前日ま で	4回以内	散布	2回以内	
せり	葉枯病			収穫7日前ま で				
クレソン	斑点病			収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内	
だいこん	白さび病 ワッカ症			収穫14日前 まで			4回以内(粒剤 は1回以内、水 和剤は3回以 内)	
あずき	さび病			収穫7日前ま で			3回以内	
いんげんまめ	炭疽病			60~200 L/10a	収穫7日前ま で	1回	散布	1回
葉ごぼう	うどんこ病			収穫21日前 まで				
こおにたびらこ ははこぐさ	菌核病			収穫30日前 まで	4回以内	散布	4回以内	
ズッキーニ	うどんこ病			収穫前日ま で			4回以内(粒剤 は3回以内)	
ピーマン	灰色かび病			100~300 L/10a	収穫前日ま で	2回以内	散布	3回以内(粒剤 は1回以内、水 和剤は2回以 内)
オクラ	うどんこ病	収穫7日前ま で	2回以内					
畑わさび	白さび病	畑育苗期	2回以内			散布	2回以内	
わさび		収穫7日前ま で					3回以内(粒剤 は1回以内、水 和剤は2回以 内)	
かぶ	白斑病		収穫7日前ま で					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%) (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用方法	アゾキシスト ロビンを含む 農薬の総使用 回数
さやいんげん	菌核病 灰色かび病	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日ま で	3回以内	散布	3回以内
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 菌核病 褐紋病						
セルリー	斑点病						
未成熟そらま め	さび病						
モロヘイヤ	灰色かび 病						
ばれいしょ	夏疫病 疫病	3000~ 4000倍	-	収穫前日ま で	3回以内	種いも 瞬間浸漬	5回以内(種い もへの処理は 1回以内、植付 時の土壌散布 は1回以内、散 布は3回以内)
	黒あざ病	500倍					
		100~ 200倍	20L/10a	植付時			
やまのいも	葉渋病 炭疽病	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日ま で	3回以内	散布	3回以内
せんぶり	さび病			収穫7日前ま で			
にら(花茎)	白斑葉枯 病			収穫前日ま で	2回以内		
しゅんぎく	炭疽病			発病初期	5回以内		
きく	白さび病						
たばこ	赤星病	2000~ 3000倍	100~180 L/10a	収穫10日前 まで	2回以内		3回以内(粒剤 は1回以内、水 和剤は2回以 内)
	菌核病	2000倍					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(3) アミスター10フロアブル (アゾキシストロビン10.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシ ストロビン を含む農薬の 総使用回数
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病	1000～ 1500倍	200～700 L/10a	収穫前E まで	5回以内	散布	5回以内
	うどんこ病 炭疽病	1000倍		収穫30日 前まで			
ぶどう	黒とう病 灰色かび病 べと病 枝膨病 晚腐病 褐斑病 さび病				おとう		収穫前日 まで
	灰星病 褐色せん孔病 炭疽病						
もも	灰星病 黒星病 おモブシ腐敗病			かき	収穫7日前 まで		
ネクタリ ン	灰星病 黒星病						
パッショ ンフルー ツ	円斑病 疫病			りんご (ふじ、王 林、ジョナ ゴールド、 つがる、千 秋、さん さ、紅玉、 シナノス イート、鼎 林、涼香の 季節)	収穫45日 前まで		
うどんこ病							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(3) アミスター10フロアブル (アゾキシストロビン10.0%) (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシ ストロビン を含む農薬の 総使用回数
いちじく	そうか病 疫病 さび病 黒葉枯病	1000倍	200~700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
すもも	灰星病 すす点病			収穫7日前 まで			
びわ	炭疽病			収穫前日 まで			
うめ	黒星病 すす斑病	1500倍		1回	1回		
マンゴー	炭疽病	1000倍		収穫7日前 まで	3回以内		3回以内
グアバ (果実)				収穫30日 前まで	2回以内		2回以内
オリーブ オリーブ (葉)				収穫前日 まで	3回以内		3回以内
ピタヤ				炭腐病			
バナナ	黒星病						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(4) アミスターエイト (アゾキシストロピン8.0%)

作物名	適用病害虫名	希釈倍徴	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数	
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (こま葉枯病菌)	1000～ 1500倍	100～200 L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では 3回以内)	
	稲こうじ病 穂枯れ (すじ葉枯病菌) 変色米 (カーブリア菌) 変色米 (エピコッカム菌) 変色米 (アマガサ菌)	1000倍						
	いもち病	8倍	800mL/10a			無人 ヘリコプターに よる散布		
		原液	120～150mL /10a					空中散布
		30倍	3L/10a					
		300倍	25L/10a					
	紋枯病	8倍	800mL/10a			無人 ヘリコプターに よる散布		
		原液	120～150mL /10a					空中散布
		30倍	3L/10a					
		300倍	25L/10a					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(5) アミスター粒剤IS (アゾキシストロビン1.5%)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを 含む 農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	4kg/10a	出穂10～30日前	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では 3回以内)

(6) アミスタープリンス粒剤 (アゾキシストロビン6.0%、フィプロニル1.0%)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを 含む農薬の 総使用回数	アゾキシストロ ビンを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 ウンカ類 イネミズゾウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の 上から均 一に散布 する。	1回	4回以内 (育苗 箱散布は1回以 内、本田では3 回以内)

(7) アミスター粉剤DL (アゾキシストロビン0.6%)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを 含む 農薬の 総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では 3回以内)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(8) アミスター オプティフロアブル (アゾキシストロビン4.8%、TPN40.0%*)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	TPNを含む農薬の総使用回数	
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内	10回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)	
かぼちゃ	うどんこ病 べと病 疫病			収穫7日前まで	3回以内			3回以内	
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病			収穫3日前まで	4回以内			5回以内	
すいか	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病 菌核病								
トマト	疫病 葉かび病 炭疽病 灰色かび病 すすかび病 斑点病			収穫前日まで	2回以内			6回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内)	
ミニトマト	収穫7日前まで			2回以内				2回以内	
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病 灰色かび病			収穫前日まで	4回以内			4回以内	4回以内
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			収穫7日前まで	2回以内			3回以内 (は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病 しみ腐病 うどんこ病	収穫21日前まで	3回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	5回以内 (種子への吹き付け処理は1回以内)					

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン5.1%、TPN40.0%製剤と同一製剤である。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(8) アミスター オプティフロアブル (アゾキシストロビン4.8%、TPN40.0%*) (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用 方法	アゾキシ ストロビ ンを含む 農薬の総 使用回数	TPNを含む 農薬の総使用 回数
たまねぎ	灰色かび 病 べと病	1000 倍	100～ 400 L/10a	収穫7日 前まで	4回以内	散布	4回以内	6回以内
ねぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病 小菌核腐 敗病			収穫14日 前まで	3回以内		5回以内 (粒剤は1 回以内、 水和剤は 4回以内)	4回以内 (土壌 灌注は1回以 内、散布は3回 以内)
にんにく	さび病			収穫7日 前まで			3回以内	6回以内
だいこん	白さび病			収穫45日 前まで			4回以内 (粒剤は1 回以内、 水和剤は 3回以内)	3回以内
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病 灰色かび病 疫病			収穫前日 まで			4回以内 (粒剤は3 回以内)	
にがうり	うどんこ 病			収穫7日 前まで			3回以内	4回以内

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン5.1%、TPN40.0%製剤と同一製剤である。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

(9) ユニフォーム粒剤 (アゾキシストロビン2.0%、メタラキシルM 1.0%)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びピメタラキシルMを含む農薬の総使用回数	
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18 kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	2回以内	土壌表面散布	4回以内(粒剤は2回以内、水和剤は2回以内)	2回以内	
みょうが (花穂)								
しょうが			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布	3回以内	3回以内	
葉しょうが			収穫21日前まで					土壌表面散布
ホップ	べと病	10~20 g/株	株ごしらえ時~選芽期	1回		1回	1回	
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内(粒剤は3回以内)	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)	
とうがらし類(ししとうを除く)				1回				1回
ししとう				3回以内				4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
パセリ		12 kg/10a	収穫21日前まで	3回以内		4回以内(粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)	
かぶ こまつな	白さび病	9 kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	3回以内(粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	2回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	
チンゲンサイ タアサイ			定植時					
みずな			は種時 又は定植時					
だいこん			6~9 kg/10a					は種時
ほうれんそう	べと病	9 kg/10a	は種時			1回	2回以内(種子への処理は1回以内、は種時は1回以内)	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(9) ユニフォーム粒剤 (アゾキシストロビン2.0%、メタラキシルM 1.0%) (続き)

作物名	適用 病害虫 名	使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	アゾキシストロ ビンを含む農 薬の総使用 回数	メタラキシル及び メタラキシルMを含 む農薬の総 使用回数
こんにゃく	根腐病	9 kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混 和	1回	1回
			培土時		株元散布		
ねぎ	白絹病	9 kg/10a	土寄せ時 但し、収穫90 日前まで	1回	株元土壌混 和	5回以内(粒 剤は1回以 内、水和剤 は4回以内)	5回以内(種 子への処理 は1回以内、 土壌混和は1 回以内、散布 は3回以内)
にんじん	しみ腐 病	9~18 kg/10a	は種前		全面土壌混 和	3回以内(粒 剤は1回以 内、水和剤 は2回以内)	2回以内(種 子への処理 は1回以内、 土壌混和は1 回以内)
オクラ	苗立枯 病			5回以内(種 子への処理 は1回以内、 は種前の土 壌混和は1回 以内、は種後 は3回以内)			
べにばな いんげん	茎根腐 病	1g/株	定植時	2回以内	株元散布	1回	1回
せり	葉腐病	3 kg/10a	収穫21日前ま で		湛水散布	5回以内(粒 剤は1回以 内、水和剤 は4回以内)	2回以内(種 子への処理 は1回以内、 は種後は1回 以内)
くわい	茎腐病		生育期	2回以内	2回以内	2回以内	2回以内
しちとうい	べっこう 病						
たばこ	疫病	6~9 kg/10a	大土寄期	1回	株元散布	3回以内(粒 剤は1回以 内、水和剤 は2回以内)	1回
		6 kg/10a	移植前		作条土壌混 和		
花き類・ 観葉植物	立枯病(リ ゾクトニ ア菌)	18 kg/10a	定植時 又は生育期	3回以内	土壌表面散 布	5回以内	4回以内(但 し生育期は3 回以内)

2. 使用上の注意事項

(1) ヘリテージ顆粒水和剤 (アゾキシストロビン47.0%*)

- 1) りんごの一部品種 (あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等) に散布液がかかった場合には、葉にネクロシス (褐変) や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい葉害が生じるので十分注意すること。また、周辺にこれら品種が栽培されている場合は、飛散 (ドリフト) により、葉害を生じる場合がある。
- 2) 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせで輪番で使用する。
- 3) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 4) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所などの関係機関の指導を受けることが望ましい。

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン50%製剤と同一製剤である。

(2) アミスター20フロアブル (アゾキシストロビン20.0%)

- 1) 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布すること。
- 2) 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると葉害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認すること。
- 3) いちご、なす、トマトの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、葉害を防ぐため散布後十分な換気を行うこと。また、特に散布後高温が予想される場合には使用しないこと。
- 4) さやえんどうに使用する場合、高温多湿条件下では、莢に壊死斑が形成される葉害を生じるおそれがあるので避けること。
- 5) ミニトマトでは、散布後湿度が高く、葉液が長時間乾かなかった場合に、花卉および茎葉部にネクロシスを生じることがあるので使用しないこと。
- 6) いちごの灰色かび病に対しては、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意すること。
- 7) はくさいに使用する場合、高温条件下では、結球前に散布すると葉害が生じるので使用しないこと。
- 8) りんごの一部品種 (あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等) では、葉にネクロシス (褐変) や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい葉害が生じるので飛散 (ドリフト) 等により散布液がかからないよう十分注意すること。また、本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないこと。
- 9) 非結球レタスに使用する場合、幼苗期に散布すると葉害が生じるので、幼苗期には使用しないこと。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

- 10) しその斑点病に使用する場合、株元を中心に散布すること。
- 11) 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすこと。
- 12) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 13) 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせで輪番で使用する。
- 14) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - ① 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意をし、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - (b) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。
 - (c) 機体の散布装置は十分洗浄すること。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないこと。
- 15) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 16) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 17) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(3) アミスター10フロアブル (アゾキシストロビン10.0%)

- 1) 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布すること。
- 2) なしに使用する場合、樹勢の弱い樹に対しては、葉に薬害(クロロシス)を生じることがあるので注意すること。
- 3) なしに使用する場合、一部の品種(幸水、新高等)では本剤を散布することにより、落葉を助長する恐れがあるので注意すること。
- 4) ぶどうの加温施設栽培では、開花前の使用で葉に薬害(小褐点)を生じる恐れがあるので、落花後に使用すること。
- 5) ぶどうで使用する場合、無袋栽培は果実肥大中期(大豆大)以降、有袋栽培は果実肥大中期(大豆大)以降袋かけ前までの散布では、果粉の溶脱が生じることがあるので十分注意すること。
- 6) りんごの一部品種(あかね、旭、ラリタン、きざし、シナノレッド、青り9号、わらび、

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

ガラ、モーリーズデリシャス、ウースター・ペアメイン、スパータン、コックスオレンジピピン、プラムレー、キッズオレンジレッド、ケント、レッドフリー、M.26、スペンサー、ビスタベラ、ナ-130等)では、葉にネクロシス(褐変)や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい薬害が生じるので使用しないこと。また、飛散(ドリフト)等により散布液がかからないよう十分注意すること。

本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないこと。

- 7) グアバ(果実)に使用する場合は、葉を食用に供しないこと。
- 8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 9) 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用する。
- 10) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 11) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(4) アミスターエイト(アゾキシストロビン8.0%)

- 1) 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布すること。
- 2) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 3) 本剤は、いもち病、紋枯病防除を主体とし、同時防除としてその他の病害に使用できるが、多発時の稲こじ病には効果が劣ることがあるので注意すること。
- 4) りんごの一部品種(あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等)では、葉にネクロシス(褐変)や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい薬害が生じるので飛散(ドリフト)等により散布液がかからないよう十分注意すること。また、本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないこと。
- 5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 6) 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ① 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 微量散布および少量散布の場合は微量散布装置の散布器具以外は使用しないこと。
 - ③ 無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ④ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ⑤ 散布薬液の飛散により他の動植物(特にりんごの一部品種)および自動車やカラートタンの塗装等に被害を与えないよう散布区域内の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ⑥ 水源池、飲料水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
 - ⑦ 散布終了後は次の事項を守ること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

1. 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
2. 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
3. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 7) 300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置（パンクルスプレーヤなど）を使用すること。
- 8) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(5) アミスター粒剤15（アゾキシストロビン1.5%）

- 1) 散布にあたっては湛水状態（水深3cm以上）で撒きむらのないよう均一に散布し、散布後少なくとも2～3日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 2) 漏水の激しい水田では、効果が劣る場合があるので使用を避ける。
- 3) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所などの関係機関の指導を受けることが望ましい。

(6) アミスタープリンス粒剤（アゾキシストロビン6.0%、フィプロニル1.0%）

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- 2) 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植すること。
- 3) 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害が生じやすいので、注意すること。
- 4) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧にいき、移植後に田面が露出しないように注意すること。
- 5) 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- 6) 本田が砂質土壌の水田、漏水田あるいは未熟堆肥多用田の場合は使用を避けること。
- 7) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(7) アミスター粉剤DL（アゾキシストロビン0.6%）

- 1) 本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布すること。
- 2) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 3) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所などの関係機関の指導を受けることが望ましい。

(8) アミスター オプティフロアブル (アゾキシストロビン4.8%、TPN40.0%*)

- 1) 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布すること。
- 2) 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると葉害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認すること。
- 3) ストレプトマイシン剤及びホセチル剤を混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加えること。
- 4) りんごの一部品種（あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等）では、葉にネクロシス（褐変）や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい葉害が生じるので、飛散（ドリフト）等により散布液がかからないよう十分注意すること。また、本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないこと。
- 5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 6) 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせ輪番で使用する。
- 7) 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 8) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

*有効成分含有量については中央値管理での表示値で示しているが、試験実施時の表示値アゾキシストロビン5.1%、TPN40.0%製剤と同一製剤である。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

(9) ユニフォーム粒剤 (アゾキシストロビン2.0%、メタラキシルM 1.0%)

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 2) ピーマンおよびとうがらし類に使用する場合、使用量・使用方法を誤ると葉が黄化する等薬害を生ずるので、使用量・使用方法を厳守すること。また、定植時～定植後3週間までの使用はさけること。
- 3) だいこんに使用する場合、施設内で使用すると葉が黄化する薬害を生ずるおそれがあるので、使用しないこと。
- 4) ホップに使用する場合、本剤が直接根株に触れたり、また、本剤を株の真上に散布すると、薬害を生ずるおそれがあるので、株のまわりに均一に散布すること。
- 5) せり、くわい、しちとういに使用する場合には、湛水状態を保ち、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 6) つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- 7) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 8) 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現するおそれがあるので、連用をさけ、作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- 9) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

(1) ヘリテージ顆粒水和剤（アゾキシストロビン50.0%水和剤）

- 1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(2) アミスター20フロアブル（アゾキシストロビン20.0%水和剤）

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(3) アミスター10フロアブル（アゾキシストロビン10.0%水和剤）

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(4) アミスターエイト（アゾキシストロビン8.0%水和剤）

- 1) 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- 2) 空中散布及び無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。
- 3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(5) アミスター粒剤15（アゾキシストロビン1.5%粒剤）

- 1) 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- 2) 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 3) 散布後は水管理に注意すること。
- 4) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(6) アミスタープリンス粒剤 (アゾキシストロビン6.0%、フィプロニル1.0%粒剤)

- 1) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
- 2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。

(7) アミスター粉剤DL (アゾキシストロビン0.6%粉剤)

水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。

(8) アミスターオプティフロアブル (アゾキシストロビン4.8%、TPN40.0%水和剤)

- 1) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(9) ユニフォーム粒剤

- 1) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- 2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 3) 散布後は水管理に注意すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

V. 残留性および環境中予測濃度算定関係

1. 作物残留性

(1)分析法の原理および操作概要

アゾキシストロビン(A)：

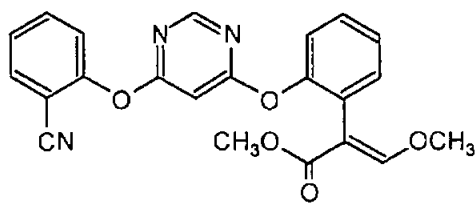
試料をアセトンで抽出後、多孔性けいそう土カラムクロマトグラフィー、ヘキサン・アセトニトリルで分配し、フロリジルカラムクロマトグラフィーおよびシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、高速液体クロマトグラフィー（UV検出器）で定量する。

(2)分析対象の化合物

アゾキシストロビン(A)：メチル=(E)-2-{2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル}-3-メトキシアクリレート

分子式； $C_{22}H_{17}N_3O_5$

分子量； 403.4



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(3)残留分析結果

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 所 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
水稲 (玄米) 平成7年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	日 植 防 高 知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	41	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		鹿 児 島 植 防	4	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	39	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
水稲 (稲わら) 平成7年度	粒剤(1.5%) 4kg/10a 散布	日 植 防 高 知	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			4	39	0.72	0.72	0.58	0.58
			4	41	0.62	0.62	0.84	0.84
		鹿 児 島 植 防	4	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			4	35	0.97	0.96	1.00	0.99
			4	39	0.45	0.44	0.54	0.52
水稲 (玄米) 平成7年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	日 植 防 高 知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	0.01	0.01	0.01	0.01
			4	21	0.01	0.01	0.01	0.01
		鹿 児 島 農 試	4	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	0.02	0.02	0.02	0.02
			4	21	0.02	0.02	0.02	0.02
水稲 (稲わら) 平成7年度	粉剤(0.6%) 4kg/10a 散布	日 植 防 高 知	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			4	14	1.15	1.14	1.04	1.03
			4	21	0.64	0.62	0.59	0.56
		鹿 児 島 農 試	4	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
			4	14	0.55	0.54	0.55	0.54
			4	21	0.38	0.37	0.48	0.47
			4	28	0.29	0.28	0.24	0.23

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
水 稻 (玄 米) 平成10年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	農 水 省 農 研 セ ン タ ー	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	13	0.04	0.04	0.03	0.03		
			4	20	0.02	0.02	0.02	0.02		
			4	27	0.03	0.02	0.03	0.02		
		群 馬 植 防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
			4	21	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
			4	28	0.01	0.01	0.02	0.02		
水 稻 (稲わら) 平成10年度	フロアブル(8%) 1000倍 150L/10a 散布	農 水 省 農 研 セ ン タ ー	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			4	13	0.39	0.38	0.50	0.50		
			4	20	0.56	0.54	0.38	0.35		
			4	27	0.34	0.33	0.21	0.20		
		群 馬 植 防	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		
			4	14	0.96	0.94	0.78	0.78		
			4	21	0.55	0.53	0.31	0.31		
			4	28	0.45	0.44	0.22	0.21		
					(財)残留農薬研究所		(株)エスコ			
水 稻 (青刈り稲) 平成11年度 〈比較試験〉	フロアブル(8%)	無処理区	0	—	0.03	0.03	0.03	0.02		
			空中散布区* 原液:0.15L/10a	宮 城 植 防	1	7	0.52	0.50	0.49	0.44
					地上散布区 1000 倍、 150L/10a	1	7	0.64	0.62	0.51
		無処理区	茨 城 県 防 除 所	0	—	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	
				空中散布区* 原液:0.15L/10a	1	7	0.54	0.52	0.51	0.49
					地上散布区 1000 倍、 150L/10a	1	7	0.72	0.70	0.71

* : 有人ヘリコプターによる空中散布

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的機関		社内機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
水 稻 (玄 米) 平成12年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	宮城植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	0.07	0.06	0.08	0.08
			4	7	0.03	0.03	0.03	0.03
			4	14	0.03	0.03	0.02	0.02
		茨城植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	0.06	0.06	0.06	0.06
			4	7	0.07	0.06	0.06	0.06
			4	14	0.05	0.04	0.04	0.04
水 稻 (稲わら) 平成12年度	フロアブル(8%) 1000倍 150L/10a 散布	宮城植防	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	3	4.49	4.44	4.91	4.65
			4	7	1.62	1.60	1.22	1.18
			4	14	0.54	0.52	0.54	0.52
		茨城植防	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	3	4.83	4.78	2.61	2.58
			4	7	2.34	2.32	2.41	2.30
			4	14	0.78	0.76	0.94	0.94
水 稻 (玄 米) 平成12年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	宮城植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	0.01	0.01	0.01	0.01
			4	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		茨城病害 虫防除所	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	0.04	0.04	0.03	0.02
			4	7	0.03	0.03	0.04	0.04
			4	14	0.03	0.02	0.02	0.02
水 稻 (稲わら) 平成12年度	フロアブル(8%) 8倍 800mL/10a 無人ヘリ散布	宮城植防	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	3	1.54	1.48	1.16	1.10
			4	7	0.89	0.85	1.20	1.14
			4	14	0.66	0.64	0.24	0.24
		茨城病害 虫防除所	0	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
			4	3	4.37	4.25	3.53	3.42
			4	7	2.72	2.64	2.68	2.58
			4	14	1.35	1.34	1.75	1.64

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)残留農薬研究所		シンジェンタ ジャパン(株)			
水 稻 (玄 米) 平成17年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	岩手植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	7	0.01	0.01	0.01	0.01		
			4	14	0.03	0.02	0.02	0.02		
			4	21	0.02	0.02	0.02	0.02		
		岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	7	0.02	0.02	0.03	0.03		
			4	14	0.01	0.01	0.01	0.01		
			4	21	0.02	0.02	0.01	0.01		
水 稻 (稲わら) 平成17年度	フロアブル(20%) 500倍 25L/10a 散布	岩手植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1		
			4	7	3.34	3.28	3.3	3.2		
			4	14	2.42	2.32	2.4	2.3		
			4	21	1.75	1.74	1.7	1.6		
		岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1		
			4	7	2.36	2.32	2.0	2.0		
			4	14	1.09	1.07	0.9	0.8		
			4	21	1.04	1.04	0.7	0.7		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
小 麦 (種子) 平成6年度	フロアブル (20%) 原液 8mL/kg 種子処理	北 海 道 植 防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	237	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	7	0.01	0.01	0.02	0.02		
			5	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
		岩手植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	208	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
			5	7	0.09	0.09	0.10	0.10		
			5	14	0.05	0.05	0.05	0.05		
	2000倍 100L/10a 散布	5	21	0.02	0.02	0.02	0.02			
							(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
		だ い ず (露 地) (乾燥子実) 平成12年度	フロアブル (20%) 2000倍 200~250L/10a 散布	北 海 道 植 防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					3	7	0.02	0.02	0.02	0.02
3	14				<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
滋 賀 植 防	0			—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	3			7	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
	3			14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロピン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
だいず (露地) (乾燥子実) 平成13年度	フロアブル (20%) 8倍 800mL/10a 無人ヘリ散布	石 川 農 総 研 セ ン タ ー	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	7	0.03	0.03	0.02	0.02	
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		福岡植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	7	0.05	0.05	0.05	0.05	
			2	14	0.04	0.04	0.03	0.03	
			2	21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント		
あずき (露地) (乾燥子実) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 120L/10a 散布	北 海 道 上 川 農 試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.01	0.01	0.01	0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	0.01	0.01	0.01	0.01	
		山形農研 セ ン タ ー	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01	
			3	21	0.01	0.01	0.01	0.01	
					(財)残留農薬研究所		-		
いんげんまめ (露地) (乾燥子実) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 150~300L/10a 散布	北 海 道 植 防	0	-	<0.01	<0.01	-	-	
			3	7	<0.01	<0.01	-	-	
			3	14	<0.01	<0.01	-	-	
			3	21	<0.01	<0.01	-	-	
		岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	-	-	
			3	7	<0.01	<0.01	-	-	
			3	14	<0.01	<0.01	-	-	
			3	21	<0.01	<0.01	-	-	
					茨城県農業総合センター				
べにばな いんげん (露地) (乾燥種実) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 1g/株 1回散布	茨 城 県 水 戸 市	0	-	<0.1	<0.1	-	-	
			1	89	<0.1	<0.1	-	-	
			1	96	<0.1	<0.1	-	-	
			1	103	<0.1	<0.1	-	-	
		茨城県 常陸太田市	0	-	<0.1	<0.1	-	-	
			1	91	<0.1	<0.1	-	-	
			1	98	<0.1	<0.1	-	-	
			1	105	<0.1	<0.1	-	-	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント		
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成18年度	フロアブル (20%) 500倍 (種いも浸漬)	北 海 植 防	0	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	21	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
		岩手植防	0	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	7	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	14	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
			4	21	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
						(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
				最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
ばれいしょ (露地) (塊茎) 平成22年度	フロアブル (20%) ①500倍 瞬時種いも浸漬 ②100倍 20L/10a 散布 ③3000倍 192~200L/10a 3回散布	北海道 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	0.01	0.01	0.01	0.01
			5	7	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			5	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
		日 植 防 山 梨	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
やまのいも (露地) (塊根) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 200~250L/10a 散布	日 植 防 研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		千葉農研セ	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
こんにやく (露地) (球茎) 平成19年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布	群馬植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	123	0.007	0.007	<0.005	<0.005
			1	137	0.009	0.008	0.006	0.006
			1	151	0.007	0.007	<0.005	<0.005
		長野植防 (南信)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	100	0.005	0.005	<0.005	<0.005
			1	114	0.007	0.006	0.005	0.005
			1	128	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
てんさい (露地) (根部) 平成8年度	フロアブル (20%) 1500倍 200L/10a 散布	北海道 中央農試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント		
てんさい (露地) (根部) 平成15年度	フロアブル (17%)* 1000倍 150L/10a 散布	北海道 植防 (札幌)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		北海道 植防 (音更)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
てんさい (露地) (根部) 平成17年度	フロアブル (20%) 500倍 1L/冊 土壌灌注 1回 1500倍 200L/10a 3回散布	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		日植調 勝	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

*有効成分含量が下限値管理から中央値管理へ移行したため有効成分含量の表示値が変更となった。てんさいの作物残留試験を実施したアゾキシストロビン17%フロアブル剤はアゾキシストロビン18.2%製剤(アゾキシストロビン・ジフェノコナゾール水和剤 アミスタートップフロアブル)と同一製剤である。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
だいこん (露地) (根部) 平成14年度	フロアブル (20%) 2000倍 107~250L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成14年度		日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成14年度	福島植防	0	—	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	
		3	14	0.46	0.44	0.36	0.36	
		3	21	0.12	0.12	0.26	0.26	
		3	28	0.09	0.09	0.24	0.24	
だいこん (露地) (葉部) 平成14年度	日植防 宮崎	0	—	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	
		3	14	0.11	0.11	0.14	0.14	
		3	21	0.08	0.08	0.11	0.11	
		3	28	0.03	0.03	0.03	0.03	
					(財)残留農薬研究所		(株)シンジェンタジャパン	
だいこん (露地) (根部) 平成19年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布	日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成19年度		日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (葉部) 平成19年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 3回散布	日植防研	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			4	7	3.88	3.83	4.91	4.88
			4	14	2.95	2.90	4.65	4.62
			4	21	1.48	1.48	3.20	3.18
だいこん (露地) (葉部) 平成19年度	日植防 山梨	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	
		4	7	1.73	1.72	1.80	1.80	
		4	14	0.66	0.66	1.21	1.21	
		4	21	0.81	0.78	0.67	0.65	
					(株)化学分析コンサルタント			
だいこん (露地) (つまみ菜) 平成19年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布	岩手植防	0	—	-	-	<0.01	<0.01
			1	14	-	-	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (間引き菜) 平成19年度		福井植防	0	—	-	-	<0.01	<0.01
			1	14	-	-	0.07	0.07
だいこん (露地) (間引き菜) 平成19年度		岩手植防	0	—	-	-	<0.01	<0.01
			1	20	-	-	<0.01	<0.01
だいこん (露地) (間引き菜) 平成19年度		福井植防	0	—	-	-	<0.01	<0.01
			1	20	-	-	0.01	0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					青 森 県 農林総合研究センター		(株)化学分析コンサルタント			
かぶ (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	青 森 研 農 総 研 (畑作)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	7	1.66	1.66	2.39	2.36		
			2	14	0.95	0.93	1.84	1.80		
			2	21	0.40	0.38	1.01	0.98		
		滋 賀 農 試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	7	9.09	8.64	8.11	7.96		
			2	14	7.80	7.78	7.94	7.78		
			2	21	3.76	3.72	4.56	4.54		
かぶ (露地) (根茎) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	青 森 研 農 総 研 (畑作)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
			2	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		滋 賀 農 試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	7	0.03	0.03	0.03	0.02		
			2	14	0.04	0.04	0.02	0.02		
			2	21	0.03	0.03	0.02	0.02		
					(財)日本食品分析センター		(株)シンジェンタジャパン			
かぶ (施設) (茎葉) 福島 平成20年度 高知 平成21年度	粒剤(2.0%) 9kg/10a 1回作条土壌混和 + フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	福 島 植 防 郡 山	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
			3	3	5.5	5.4	6.0	5.8		
			3	7	3.2	3.2	4.5	4.4		
			3	14	4.2	4.2	4.4	4.4		
			日 植 防 高 知	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
				3	3	15.9	15.4	14.0	14.0	
		3		7	10.4	10.2	10.5	10.4		
		かぶ (施設) (根部) 福島 平成20年度 高知 平成21年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	福 島 植 防 郡 山	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					3	3	0.02	0.02	0.05	0.05
					3	7	0.02	0.02	0.04	0.04
				日 植 防 高 知	3	14	0.02	0.02	0.05	0.04
					0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
3	3				0.05	0.05	0.14	0.14		
3	7	0.06	0.06	0.09	0.08					
3	14	0.06	0.06	0.07	0.07					
							(株)化学分析コンサルタント			
かぶ (施設) (茎葉) 平成23年度	粒剤(2.0%) 9kg/10a 1回作条土壌混和 + フロアブル (20%) 2000倍 179L/10a 2回散布	日 植 防 宮 崎	0	-	-	-	<0.01	<0.01		
			3	3	-	-	7.96	7.85		
			3	7	-	-	7.19	7.13		
		日 植 防 宮 崎	3	14	-	-	6.19	6.16		
			0	-	-	-	<0.01	<0.01		
			3	3	-	-	<0.01	<0.01		
3	7	-	-	<0.01	<0.01					
3	14	-	-	<0.01	<0.01					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的機関		社内機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					愛知県総合農業試験場		-		
クレソン (施設) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 150L/10a 散布	愛 知 県 農 試	0	—	<0.20	<0.20	-	-	
			3	7	1.34	1.31	-	-	
			3	14	<0.20	<0.20	-	-	
			3	21	<0.20	<0.20	-	-	
		大 阪	0	—	<0.20	<0.20	-	-	
			3	7	4.66	4.62	-	-	
			3	14	1.94	1.85	-	-	
			3	21	0.27	0.26	-	-	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント		
はくさい (露地) (茎葉) 平成11年度	フロアブル (20%) 原液;8mL/種子1kg 吹付コーティング 2000倍;300L/10a 散布	岩 手 県 植 防 協 会	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			5	7	0.07	0.07	0.10	0.10	
			5	14	0.03	0.03	0.04	0.04	
			5	21	0.06	0.06	0.04	0.04	
		日 植 防 研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	0.06	0.06	0.02	0.02	
			4	14	0.03	0.03	0.03	0.03	
			4	21	0.02	0.02	0.02	0.02	
						(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
	キャベツ (露地) (葉球) 平成13年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	北 海 道 植 防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				4	7	0.02	0.02	0.08	0.08
				4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
日 植 防 研			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
こまつな (施設) (茎葉) 平成16年度 (香川) 平成17年度 (長野)	フロアブル (20%) 2000倍 214~400L/10a 散布	長野農試 (南信)	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			2	7	0.7	0.7	1.1	1.0
			2	14	0.2	0.2	0.2	0.2
			2	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		香川農試	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			2	7	9.2	9.2	7.4	7.4
			2	14	5.5	5.4	7.3	7.3
			2	21	2.5	2.5	1.4	1.4
					東京農林総研		(株)化学分析コンサルタント	
こまつな (施設) (茎葉) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布 フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	東京農林総研	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	7	0.4	0.4	2.0	2.0
			3	14	0.1	0.1	<0.1	<0.1
			3	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		神奈川農技センター	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	7	1.3	1.2	2.0	2.0
			3	14	0.7	0.6	0.8	0.8
			3	21	0.1	0.1	0.2	0.2
							(株)化学分析コンサルタント	
みずな (施設) (茎葉) 平成18年度 (奈良) 平成16年度 (香川)	フロアブル (20%) 2000倍 265~391L/10a 散布	奈良植防	0	-	-	-	<0.1	<0.1
			2	7	-	-	8.6	8.5
			2	14	-	-	3.5	3.4
			2	21	-	-	0.4	0.4
		香川農試	0	-	-	-	<0.1	<0.1
			2	7	-	-	24.8	24.6
			2	14	-	-	6.6	6.6
			2	21	-	-	2.4	2.4
					埼玉農林総研			
みずな (露地) (茎葉) 平成20年度 平成21年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回 全面土壌混和 フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	埼玉農林総研	0	-	<0.1	<0.1	-	-
			3	7	1.3	1.3	-	-
			3	14	0.2	0.2	-	-
			3	21	0.1	0.1	-	-
		埼玉農林総研	0	-	<0.1	<0.1	-	-
			3	7	5.4	5.2	-	-
			3	14	3.2	3.0	-	-
			3	21	2.6	2.5	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					長野農業総合試験場		(株) エコプロリサーチ	
チンゲンサイ (施設) (茎葉) 平成19年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布	長 野 野 菜 花 試 験 場	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	3	12.0	11.7	12.4	11.7
			3	7	6.5	6.4	8.8	6.4
			3	14	2.6	2.6	1.8	2.6
	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	静 岡 農 技 研	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	3	6.0	5.6	5.2	5.6
			3	7	1.4	1.4	1.8	1.4
			3	14	0.2	0.2	0.3	0.2
					(関)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
ブロッコリー (露地) (花蕾) 平成20年度	フロアブル (20%) 2000倍 250, 300L/10a 散布	日 植 防 高 知 試	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	3	2.8	2.8	2.4	2.4
			3	7	0.8	0.8	1.2	1.2
			3	14	0.2	0.2	0.1	0.1
	日 植 防 宮 崎 試	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
		3	3	2.3	2.3	2.4	2.4	
		3	7	1.6	1.6	1.8	1.8	
		3	14	0.5	0.4	0.7	0.6	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					大阪府立農林技術センター		奈良県農業技術センター		
しろな (施設) (茎葉) 平成12年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	大 阪 農 技 セ ン タ ー	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	3	1.15	1.15	0.71	0.70	
			1	7	0.48	0.46	0.76	0.76	
		奈 良 農 技 セ ン タ ー	1	14	0.12	0.12	0.06	0.06	0.06
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	3	4.78	4.70	7.07	6.90	
1	7	2.26	2.22	3.39	3.32				
1	14	2.19	2.12	2.39	2.34				
					神奈川県農業総合研究所		-		
大山そだち (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	神 奈 川 農 試	0	-	<0.03	<0.03	-	-	
			2	7	4.12	4.12	-	-	
			2	14	2.10	2.10	-	-	
		神 奈 川 農 試	0	-	<0.03	<0.03	-	-	
			2	7	5.51	5.34	-	-	
			2	14	3.32	3.28	-	-	
2	21	2.23	2.19	-	-				
					神奈川県農業総合研究所		-		
サガミグリーン (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	神 奈 川 農 試	0	-	<0.03	<0.03	-	-	
			2	7	4.22	4.18	-	-	
			2	14	2.61	2.50	-	-	
		神 奈 川 農 試	0	-	<0.03	<0.03	-	-	
			2	7	4.12	4.12	-	-	
			2	14	2.20	2.13	-	-	
2	21	0.94	0.92	-	-				
					(株) エコプロリサーチ		-		
タアサイ (施設) (葉部) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 1回散布	静 岡 農 技 研 (袋井)	0	-	<0.1	<0.1	-	-	
			3	3	3.4	3.4	-	-	
			3	7	1.6	1.6	-	-	
			3	14	0.2	0.2	-	-	
	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 2回散布	静 岡 農 技 研 (磐田)	0	-	<0.1	<0.1	-	-	
			3	3	12.8	12.8	-	-	
			3	7	4.8	4.7	-	-	
			3	14	0.5	0.5	-	-	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					岡山県農業試験場		-			
エンダイブ (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	千 葉 農 総 研 暖 地 園 芸	0	-	<0.05	<0.05	-	-		
			1	21	<0.05	<0.05	-	-		
			1	28	<0.05	<0.05	-	-		
			1	35	<0.05	<0.05	-	-		
		岡山農試	0	-	<0.05	<0.05	-	-		
			1	21	1.20	1.18	-	-		
			1	28	0.27	0.26	-	-		
			1	35	<0.05	<0.05	-	-		
					福岡県農業総合試験場		福岡市環境局保健環境検査所			
しゅんぎく (施設) (茎葉) 平成20年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	広 島 農 水 振 興 セ ン タ ー	0	-	<0.30	<0.30	<0.5	<0.5		
			2	1	10.8	10.7	12.2	12.1		
			2	7	3.59	3.58	11.7	11.6		
					2	14	1.81	1.80	3.1	3.1
		福 岡 農 総 試	0	-	<0.30	<0.30	<0.5	<0.5		
			2	1	15.4	14.8	15.2	15.2		
			2	7	9.38	9.26	11.6	11.4		
			2	14	7.78	7.62	7.1	7.1		
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント			
レタス (施設) (茎葉) 平成12年度	フロアブル (20%) 2000倍 200~300L/10a 散布	日 植 防 研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	7	1.11	1.08	1.54	1.52		
			4	14	0.67	0.67	0.72	0.70		
					4	21	0.02	0.02	0.20	0.20
		長 野 植 防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	7	2.69	2.68	2.80	2.77		
			4	14	2.95	2.94	1.42	1.40		
			4	21	0.33	0.33	0.22	0.21		
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント			
レタス (施設) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 土壌灌注: 3000L/10a 茎葉散布: 200~300L/10a	岩 手 植 防	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
			4	3	6.8	6.8	6.4	6.4		
			4	7	2.4	2.4	2.4	2.4		
					4	14	0.2	0.2	0.4	0.4
		岐 阜 植 防	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
			4	3	3.7	3.7	3.3	3.2		
			4	7	2.5	2.5	2.4	2.4		
			4	13	0.6	0.6	0.6	0.6		
					(財)日本食品分析センター		-			
サラダ菜 (施設) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 150、200L/10a 散布	日 植 防 研	0	-	<0.1	<0.1	-	-		
			4	7	14.5	14.0	-	-		
			4	14	7.2	7.2	-	-		
					4	21	1.5	1.5	-	-
		埼 玉 植 防	0	-	<0.1	<0.1	-	-		
			4	7	15.9	15.9	-	-		
			4	14	9.4	9.2	-	-		
			4	21	1.5	1.4	-	-		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター		-	
リーフレタス (露地) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 100~245L/10a 散 布	静岡植防	0	—	<0.1	<0.1	-	-
			4	7	21.6	21.0	-	-
			4	14	12.1	11.6	-	-
			4	21	5.1	5.0	-	-
		日 宮 植 防 崎	0	—	<0.1	<0.1	-	-
			4	7	5.2	5.0	-	-
			4	14	0.5	0.4	-	-
			4	21	<0.1	<0.1	-	-
					大阪府立食とみどりの総合技術センター		-	
葉ごぼう (施設) (植物体全体) 平成17年度 (長崎) 平成18年度 (大阪)	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散 布	大 阪	0	—	<0.1	<0.1	-	-
			1	14	6.1	6.0	-	-
			1	21	1.6	1.6	-	-
			1	28	0.4	0.4	-	-
		長崎県病 害虫防除 所	0	—	<0.1	<0.1	-	-
			1	14	1.5	1.4	-	-
			1	21	2.3	2.2	-	-
			1	28	1.0	1.0	-	-
					神奈川県技術センター		-	
おにたびらご (ほとけのざ) (施設) (茎葉) 平成18年度	フロアブル (20%) 2000倍 150L/10a 散 布	神 奈 川 農 技 セ ン タ ー (三浦市)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			1	30	0.87	0.86	-	-
			1	45	0.47	0.47	-	-
			1	60	0.06	0.06	-	-
		神 奈 川 農 技 セ ン タ ー (平塚市)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			1	30	1.37	1.29	-	-
			1	45	0.40	0.40	-	-
			1	60	0.33	0.33	-	-
					神奈川県技術センター		-	
ははこぐさ (ごぎょう) (施設) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 100~150L/10a 散 布	神 奈 川 農 技 セ ン タ ー (三浦市)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			1	30	0.36	0.36	-	-
			1	45	0.08	0.08	-	-
			1	60	0.06	0.06	-	-
		神 奈 川 農 技 セ ン タ ー (平塚市)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			1	30	0.77	0.77	-	-
			1	45	0.28	0.28	-	-
			1	60	0.04	0.04	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的機関		社内機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
たまねぎ (露地) (鱗茎) 平成12年度	フロアブル (20%) 1500倍 200L/10a 散布	長野植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	1	0.02	0.02	0.02	0.02	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		兵庫植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					-		(株)化学分析コンサルタント		
根深ねぎ (露地) (茎葉) 平成7年度	フロアブル (20%) 2000倍 180~300L/10a 散布	群馬植防	0	—	-	-	<0.01	<0.01	
			4	3	-	-	0.96	0.96	
			4	7	-	-	0.32	0.32	
			4	14	-	-	0.19	0.18	
		千葉農試 北総農技	0	—	-	-	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	-	-	0.20	0.20	
			4	7	-	-	0.12	0.12	
			4	14	-	-	0.05	0.04	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
葉ねぎ (露地) (茎葉) 平成7年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	京 都 農 総 研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	3	1.23	1.22	1.00	1.00	
			4	7	1.43	1.42	1.08	1.02	
			4	14	0.35	0.34	0.62	0.61	
		日 植 防 高 知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	1.22	1.20	1.09	1.08	
			4	7	0.28	0.27	0.22	0.22	
			4	14	0.09	0.08	0.07	0.07	
					(財)残留農薬研究所		青森県農業試験場		
にんにく (露地) (鱗茎) 平成10年度	フロアブル (20%) 2000倍 青森 300L/10a 宮城 150L/10a 散布	青森農試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		宮 城 県 農 業 セ ン タ ー	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
にら (施設) (茎葉) 平成11年度	フロアブル (20%) 2000倍 150~200L/10a 散布	群馬植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	5.86	5.78	2.86	2.76
			2	7	4.54	4.51	1.77	1.71
			2	14	1.11	1.10	0.50	0.49
		日 植 防 高 知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	3	10.1	10.1	10.9	10.5
			2	7	8.75	8.72	8.68	8.56
			2	14	2.42	2.42	2.15	2.14
					(財)日本食品分析センター		シンジェンタ ジャパン(株)	
アスパラガス (施設) (茎) 平成13年度	フロアブル (20%) 2000倍 250~300L/10a 散布	長野植防 南 信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.74	0.72	0.84	0.83
			4	3	0.11	0.10	0.23	0.22
		香川農試 三 木	4	7	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.08	0.08	0.13	0.13
			4	3	0.02	0.02	0.03	0.01
			4	6	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					-		(株)化学分析コンサルタント	
わけぎ (露地) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 150~400L/10a 散布	愛知植防	0	—	-	-	<0.1	<0.1
			4	3	-	-	0.3	0.3
			4	7	-	-	0.1	0.1
			4	14	-	-	<0.1	<0.1
		佐賀農試 センター	0	—	-	-	<0.1	<0.1
			4	3	-	-	3.4	3.4
			4	7	-	-	0.4	0.4
			4	14	-	-	0.3	0.3
					(財)日本食品分析センター		-	
らっきょう (露地) (鱗茎) 平成15年度 平成16年度 (鳥取)	フロアブル (20%) 2000倍 150L/10a 散布	静岡農試	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			3	3	<0.01	<0.01	-	-
			3	7	0.02	0.02	-	-
			3	14	<0.01	<0.01	-	-
		鳥取園試	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			3	3	0.02	0.02	-	-
			3	7	0.01	0.01	-	-
			3	14	<0.01	<0.01	-	-
					(財)日本食品分析センター		-	
薬たまねぎ (施設) (葉及び鱗茎) 平成19年度	フロアブル (20%) 2000倍 150L/10a 散布	千葉県農 業総合研 究センタ ー (山武)	0	—	<0.01	<0.01	-	-
			3	3	2.03	2.02	-	-
			3	7	2.21	2.19	-	-
			3	14	1.65	1.64	-	-
		千葉県農 業総合研 究センタ ー (長生)	0	—	<0.01	<0.01	-	-
			3	3	1.05	1.04	-	-
			3	7	1.11	1.11	-	-
			3	14	1.10	1.08	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)残留農薬研究所		シンジェンタ ジャパン(株)	
にんじん (露地) (根部) 平成15年度	フロアブル (4.8%) 1000倍 200~400L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.03	0.03	0.04	0.04
			2	21	0.02	0.02	0.02	0.02
			2	28	0.02	0.02	0.02	0.02
	新 潟 農 総 研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	14	0.02	0.02	0.01	0.01	
		2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
にんじん (露地) (根部) 平成21年度	粒剤 (2.0%) 18kg/10a 1回 作条土壌混和	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.03	0.03	0.04	0.04
			3	21	0.05	0.05	0.05	0.04
			3	28	0.04	0.04	0.04	0.04
	三重植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		3	14	0.05	0.04	0.05	0.05	
		3	21	0.04	0.04	0.05	0.05	
		3	28	0.05	0.05	0.06	0.06	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					香川県農業試験場		-			
パセリ (施設) (茎葉) 平成15年度	フロアブル (20%) 2000倍 250L/10a 散布	香 川 高 松	0	-	<0.05	<0.05	-	-		
			1	30	5.72	5.70	-	-		
			1	45	<0.05	<0.05	-	-		
		香 川 東 かがわ	0	-	<0.05	<0.05	-	-		
			1	30	2.40	2.38	-	-		
			1	45	0.33	0.33	-	-		
		1	60	0.13	0.13	-	-			
					-		(株)化学分析コンサルタント			
パセリ (施設) (茎葉) 平成20年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 1回散布 粒剤 (2.0%) 18kg/10a 3回散布	日 植 防 高 知	0	-	-	-	<1	<1		
			4	14	-	-	<1	<1		
			4	21	-	-	<1	<1		
			4	28	-	-	<1	<1		
		日 植 防 宮 崎	0	-	-	-	<1	<1		
			4	14	-	-	<1	<1		
		4	21	-	-	<1	<1			
		4	28	-	-	<1	<1			
					長野県農業総合試験場		(社)長野県農村工業研究所			
セルリー (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	長 野 中 信 農 試	0	-	<0.2	<0.2	<0.05	<0.05		
			4	3	8.9	8.8	9.38	9.36		
			4	7	6.1	6.0	7.26	7.22		
			4	14	5.8	5.8	5.76	5.74		
							(財)日本食品分析センター		(株)エコプロ・リサーチ	
		静 岡 農 試	0	-	<0.05	<0.05	<0.1	<0.1		
4	3		5.05	5.02	4.1	4.0				
4	7		4.24	4.20	6.1	6.1				
		4	14	2.93	2.88	2.5	2.4			
					(財)日本食品分析センター		-			
みつば (施設) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 100L/10a 散布	千 葉 農 総 研	0	-	<0.5	<0.5	-	-		
			1	7	4.1	4.0	-	-		
			1	14	1.6	1.6	-	-		
		静 岡 農 試	0	-	<0.5	<0.5	-	-		
			1	7	3.4	3.4	-	-		
			1	14	1.7	1.7	-	-		
		1	21	<0.5	<0.5	-	-			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方式	試料調製 場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(株)化学分析コンサルタント			
せり (露地) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	宮城農園 芸研(名 取市)	0	—	-	-	<0.4	<0.4
			4	7	-	-	0.5	0.4
			4	14	-	-	0.7	0.7
			4	21	-	-	<0.4	<0.4
		宮城農園 芸研(河 北市)	0	—	-	-	<0.4	<0.4
			4	7	-	-	0.8	0.8
			4	12	-	-	0.5	0.5
			4	20	-	-	<0.4	<0.4
					宮 城 県 農業・園芸総合研究所			
せり (露地) (茎葉) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 3kg/10a 1回散布 フロアブル (20%) 2000倍 260~330L/10a 4回散布	宮 城 農園芸研 (河北)	0	—	<0.5	<0.5	-	-
			5	21	5.71	5.63	-	-
			5	28	1.45	1.43	-	-
			5	35	0.77	0.76	-	-
		宮 城 農園芸研 (名取)	0	—	<0.5	<0.5	-	-
			5	21	2.55	2.51	-	-
			5	28	0.92	0.90	-	-
			5	35	0.65	0.64	-	-
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
トマト (施設) (果実) 平成10年度	フロアブル (20%) 1500倍 300L/10a 散布	愛 知 農 総 試 山 間	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.31	0.30	0.40	0.40
			4	3	0.36	0.36	0.37	0.36
			4	7	0.26	0.26	0.26	0.26
		三 重 農 技 セ ン タ ー	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.03	0.03	0.08	0.08
			4	3	0.05	0.05	0.04	0.04
			4	8	0.05	0.05	0.09	0.09
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
ミニトマト (施設) (果実) 平成20年度	フロアブル (4.8%) 1000倍 300L/10a 散布	日 植 防 高 知	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			2	1	0.2	0.2	0.2	0.2
			2	3	0.2	0.2	0.2	0.2
			2	7	0.1	0.1	0.2	0.2
		日 宮	2	14	0.1	0.1	0.1	0.1
			0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			2	1	0.1	0.1	0.2	0.2
			2	3	<0.1	<0.1	0.2	0.2
		日 宮	2	7	<0.1	<0.1	0.1	0.1
			2	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製 場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		社内分析機関				
					アゾキシストロビン						
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント				
ピーマン (施設) (果実) 平成12年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			4	1	1.20	1.18	1.20	1.17			
			4	3	0.98	0.95	0.91	0.91			
			4	7	0.78	0.74	0.61	0.60			
		日植防 宮崎	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	1	1.29	1.28	1.30	1.27			
			4	3	1.28	1.26	1.11	1.08			
			4	7	0.90	0.88	0.76	0.74			
					(財)日本食品分析センター		シンジェンタ ジャパン(株)				
ピーマン (施設) (果実) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 3g/1株 散布	日植防 高知	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	28	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
		日植防 宮崎	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
			4	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
			4	28	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
								(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
			なす (施設) (果実) 平成7年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	群馬植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4	1	0.22				0.22	0.27	0.26			
4	3	0.12				0.12	0.10	0.10			
4	7	0.05				0.04	0.05	0.05			
日植防 高知	0	—			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	4	1			0.58	0.58	0.59	0.58			
	4	3			0.34	0.34	0.29	0.29			
	4	7			0.06	0.06	0.05	0.04			
					(株)化学分析コンサルタント						
ししとう (施設) (果実) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 3g/1株 散布	和歌山 農林水産 総合技術 センター	0	-	-	-	<0.1	<0.1			
			4	1	-	-	<0.1	<0.1			
			4	7	-	-	<0.1	<0.1			
			4	14	-	-	<0.1	<0.1			
			4	21	-	-	<0.1	<0.1			
			4	28	-	-	<0.1	<0.1			
		高知農技 センター	0	-	-	-	<0.1	<0.1	<0.1		
			4	1	-	-	<0.1	<0.1			
			4	7	-	-	<0.1	<0.1			
			4	14	-	-	<0.1	<0.1			
			4	21	-	-	<0.1	<0.1			
			4	28	-	-	<0.1	<0.1			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		社内分析機関				
					アゾキシストロビン						
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					岐阜農技センター		-				
甘長 とうがらし (岐阜：露地) (京都：施設) (果実) 平成21年度	粒剤 (2.0%) 3g/1株 散布	岐阜農技 センター	0	-	<0.1	<0.1	-	-			
			4	1	<0.1	<0.1	-	-			
			4	3	<0.1	<0.1	-	-			
			4	7	<0.1	<0.1	-	-			
			4	14	<0.1	<0.1	-	-			
							京都農技センター				
		京都農技 センター	0	-	<0.1	<0.1	-	-			
			4	1	<0.1	<0.1	-	-			
			4	3	<0.1	<0.1	-	-			
			4	7	<0.1	<0.1	-	-			
			4	14	<0.1	<0.1	-	-			
			4	21	<0.1	<0.1	-	-			
			4	28	<0.1	<0.1	-	-			
								(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
きゅうり (施設) (果実) 平成6年度	フロアブル (20%) 1000倍 100mL/株 株元灌注 1500倍 150~300L/10a 散布		日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		1		46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
		4		1	0.18	0.18	0.20	0.20			
		4		3	0.08	0.08	0.09	0.08			
		4		7	0.02	0.02	0.02	0.02			
		5		1	0.16	0.16	0.14	0.14			
		5		3	0.09	0.08	0.07	0.07			
		5		7	0.02	0.02	0.02	0.02			
		石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			1	85	<0.01	<0.01	0.01	0.01			
			4	1	0.50	0.48	0.41	0.41			
			4	3	0.11	0.11	0.27	0.27			
			4	7	0.04	0.04	0.04	0.04			
			5	1	0.25	0.25	0.20	0.20			
			5	3	0.10	0.10	0.16	0.16			
			5	7	0.03	0.02	0.06	0.06			
								(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
			かぼちゃ (施設) (果実) 平成15年度	フロアブル (20%) 2000倍 293.3~300L/10a 散布	北海道 植防	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
4	1	0.2				0.2	0.3	0.3			
4	7	0.1				0.1	0.1	0.1			
4	14	<0.1				<0.1	<0.1	<0.1			
日植防 宮崎	0	-			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
	4	1			0.2	0.2	0.3	0.3			
	4	7			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
	4	14			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
						宮崎県総合農業試験場		-			
	ズッキーニ (施設・無袋) (果実) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 250L/10a 散布			宮崎県 佐土原町	0	-	<0.1	<0.1	-	-
4			1	0.2		0.2	-	-			
4			3	0.1		0.1	-	-			
4			7	<0.1		<0.1	-	-			
宮崎県 高鍋町			0	-	<0.1	<0.1	-	-			
			4	1	0.2	0.2	-	-			
			4	3	0.1	0.1	-	-			
			4	7	<0.1	<0.1	-	-			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
すいか (施設) (果実) 平成7年度	フロアブル (20%) 2000倍 168~300L/10a 散布	日 植 防 研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
		日 宮 防 崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
メロン (施設) (果実) 平成7年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	日 植 防 研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		日 宮 防 崎	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					-		(株)化学分析コンサルタント		
にがうり (施設) (果実) 平成19年度	フロアブル (20%) 2000倍 150~300L/10a 散布	日 宮 防 崎	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			3	1	-	-	0.22	0.22	
			3	3	-	-	0.19	0.18	
			3	7	-	-	0.11	0.11	
		鹿 児 島 農 環	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			3	1	-	-	0.85	0.84	
			3	3	-	-	1.28	1.27	
			3	7	-	-	0.41	0.40	
					(株)化学分析コンサルタント		-		
ほうれんそう (施設) (茎葉) 平成23年度	粒剤 (2.0%) 9kg/10a 全面土壌混和	福 島 植 防 郡 山	0	-	<0.01	<0.01	-	-	
			1	46	<0.01	<0.01	-	-	
			1	53	<0.01	<0.01	-	-	
			1	60	<0.01	<0.01	-	-	
		福 井 植 防	0	-	<0.01	<0.01	-	-	
			1	29	<0.01	<0.01	-	-	
			1	36	<0.01	<0.01	-	-	
			1	41	<0.01	<0.01	-	-	
					(株)化学分析コンサルタント		-		
オクラ (施設) (果実) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 180~250L/10a 散布	群 馬 植 防	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			2	1	-	-	1.24	1.22	
			2	3	-	-	0.55	0.54	
			2	7	-	-	0.09	0.09	
		日 植 防 高 知	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			2	1	-	-	1.07	1.06	
			2	3	-	-	0.58	0.58	
			2	7	-	-	0.24	0.24	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					-		日本エコテック(株)		
オクラ (施設)	① 粒剤(2%) 18kg/10a 全面土壌混和 9kg/10a 株元散布 ②フロアブル(20%) 2000倍 300L/10a 散布	鹿 児 島 農 業 開 発 総 合 セ ン タ ー	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			6	1	-	-	0.12	0.12	
			6	3	-	-	0.05	0.05	
			6	7	-	-	0.02	0.02	
			6	14	-	-	0.01	0.01	
(果実) 平成25年度	① 粒剤(2%) 18kg/10a 全面土壌混和 ②フロアブル(20%) 2000倍 250L/10a 散布 ①9kg/10a 株元散布	鹿 児 島 農 業 開 発 総 合 セ ン タ ー	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			6	1	-	-	<0.01	<0.01	
			6	3	-	-	<0.01	<0.01	
			6	7	-	-	<0.01	<0.01	
			6	14	-	-	<0.01	<0.01	
					(株)化学分析コンサルタント				
オクラ (施設)	① 粒剤(2%) 18kg/10a 全面土壌混和 9kg/10a 株元散布 ②フロアブル(20%) 2000倍 150L/10a 散布	高 知 県 農 技 セ ン タ ー	0	-	-	-	<0.01	<0.01	
			6	1	-	-	0.43	0.42	
			6	3	-	-	0.23	0.22	
			6	7	-	-	0.04	0.04	
			6	14	-	-	<0.01	<0.01	
	(果実) 平成25年度	① 粒剤(2%) 18kg/10a 全面土壌混和 ②フロアブル(20%) 2000倍 150L/10a 散布 ①9kg/10a 株元散布	高 知 県 農 技 セ ン タ ー	0	-	-	-	<0.01	<0.01
				6	1	-	-	0.01	0.01
				6	3	-	-	0.01	0.01
				6	7	-	-	<0.01	<0.01
		① 粒剤(2%) 18kg/10a 全面土壌混和	高 知 県 農 技 セ ン タ ー	0	-	-	-	<0.01	<0.01
				1	78	-	-	<0.01	<0.01
				1	80	-	-	<0.01	<0.01
				1	84	-	-	<0.01	<0.01
			1	91	-	-	<0.01	<0.01	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関		社内分析機関				
					アゾキシストロビン						
					最高値	平均値	最高値	平均値			
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント				
しょうが (露地) (根茎) 平成19年度	粒剤(2%) 18kg/10a 散布	日植防研	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
			3	20	0.012	0.012	0.006	0.006			
			3	30	0.013	0.013	0.013	0.012			
			3	40	0.007	0.007	0.013	0.013			
		日植防高知	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005			
			3	20	0.073	0.072	0.046	0.046			
			3	30	0.059	0.058	0.033	0.033			
			3	40	0.052	0.052	0.035	0.034			
					-		(株)化学分析コンサルタント				
葉しょうが (露地) (根茎) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 18kg/10a 3回散布	日植防研	0	—	-	-	<0.01	<0.01			
			3	14	-	-	0.02	0.02			
			3	21	-	-	0.03	0.03			
			3	28	-	-	0.02	0.02			
			3	35	-	-	0.02	0.02			
		日植防宮崎	0	—	-	-	<0.01	<0.01			
			3	14	-	-	0.16	0.16			
			3	21	-	-	0.12	0.12			
			3	28	-	-	0.13	0.12			
			3	35	-	-	0.14	0.14			
					-		(株)化学分析コンサルタント				
さやえんどう (施設) (さや) 平成16年度 (和歌山) 平成17年度 (高知)	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	日植防高知	0	-	-	-	<0.01	<0.01			
			3	1	-	-	0.25	0.24			
			3	3	-	-	0.29	0.28			
			3	7	-	-	0.06	0.06			
		和歌山植防	0	-	-	-	<0.01	<0.01			
			3	1	-	-	1.32	1.30			
			3	3	-	-	0.92	0.90			
			3	7	-	-	0.54	0.54			
								(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
			さやいんげん (施設) (さや) 平成16年度	フロアブル(20%) 2000倍 150、200L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
3	1	0.71				0.68	0.78	0.77			
3	3	0.51				0.50	0.55	0.54			
3	7	0.30				0.30	0.20	0.20			
日植防高知	0	—			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
	3	1			1.00	1.00	1.14	1.12			
	3	3			0.88	0.86	0.92	0.92			
	3	7			0.83	0.80	1.06	1.04			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント		
えだまめ (露地) (さや) 平成16年度 (岐阜) 平成17年度 (徳島)	フロアブル (20%)	岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	2.36	2.32	2.13	2.12	
			3	3	2.28	2.22	1.72	1.71	
			3	7	2.08	2.02	1.63	1.61	
	2000倍 200L/10a 散布	徳島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	0.46	0.46	0.42	0.42	
			3	3	0.37	0.37	0.47	0.47	
			3	7	0.20	0.19	0.41	0.40	
					-		(株)化学分析コンサルタント		
未成熟 そらまめ (愛媛：露地) (鹿児島：施設) (豆) 平成18年度	フロアブル (20%) 2000倍	愛媛農試	0	—	-	-	<0.01	<0.01	
			3	3	-	-	<0.01	<0.01	
			3	7	-	-	<0.01	<0.01	
			3	14	-	-	<0.01	<0.01	
	250、286L/10a 散布	鹿児島農試	0	—	-	-	<0.01	<0.01	
			3	3	-	-	0.02	0.02	
			3	7	-	-	0.01	0.01	
			3	14	-	-	<0.01	<0.01	
					埼玉農総研センター		-		
くわい (露地) (塊茎) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 3kg/10a 散布	埼玉農総研センター	0	—	<1.0	<1.0	-	-	
			2	21	<1.0	<1.0	-	-	
			2	28	<1.0	<1.0	-	-	
			2	35	<1.0	<1.0	-	-	
						JA全農富農・技術センター			
			広島東部病害虫防除所	0	—	<0.01	<0.01	-	-
				2	21	0.03	0.02	-	-
				2	28	0.04	0.04	-	-
2				35	0.03	0.02	-	-	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的機関		社内機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
りんご (無袋) (果実) 平成6年度	フロアブル (10%) 1000倍 500L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	14	1.35	1.33	1.74	1.74		
			5	28	1.38	1.36	1.21	1.20		
			5	42	0.98	0.98	0.68	0.68		
		長野植防 須坂 研究所	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			5	14	0.62	0.61	0.39	0.38		
			5	28	0.30	0.29	0.25	0.24		
			5	42	0.15	0.14	0.11	0.10		
							(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
		日本なし (無袋) (果実) 平成7年度	フロアブル (10%) 1000倍 500L/10a 散布	三重農技 センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					5	14	0.60	0.60	0.57	0.56
					5	28	0.46	0.45	0.40	0.38
5	42				0.22	0.22	0.24	0.23		
鳥取植防	0			—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	5			14	0.37	0.36	0.30	0.30		
	5			28	0.22	0.22	0.16	0.15		
	5			42	0.03	0.03	0.03	0.02		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
日本なし (無袋) (果実) 平成10年度	フロアブル (10%) 1000倍 500L/10a 散布			福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					5	1	0.68	0.68	0.63	0.62
					5	3	0.49	0.48	0.37	0.36
		5	7		0.57	0.57	0.41	0.40		
		長野県 南信農試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			5	1	0.36	0.35	0.25	0.24		
			5	3	0.19	0.18	0.09	0.08		
			5	7	0.13	0.12	0.11	0.10		
							長崎県総合農林試験場		-	
		びわ (施設) (果実) 平成12年度 平成14年度	フロアブル (10%) 1000倍 400L/10a 散布	長崎県試 (平成12年 度実施)	0	—	<0.003	<0.003	-	-
					2	7	0.014	0.014	-	-
					2	14	0.012	0.012	-	-
2	21				0.011	0.011	-	-		
3	7				0.017	0.017	-	-		
3	14				0.013	0.013	-	-		
3	21				0.011	0.011	-	-		
3	21				0.011	0.011	-	-		
長崎県試 (平成14年 度実施)	0			—	<0.004	<0.004	-	-	-	
	3			7	0.008	0.008	-	-	-	
	3			14	0.007	0.006	-	-	-	
	3			21	0.007	0.006	-	-	-	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
もも (無袋) (果肉) 平成9年度	フロアブル(10%) 1000倍 500L/10a 散布	岐阜植防 中山間	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
もも (無袋) (果皮) 平成9年度		香川農試 府中分場	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	3	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01
	岐阜植防 中山間	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
		3	1	2.57	2.57	1.78	1.71	
		3	3	2.09	2.09	1.26	1.23	
		3	7	1.94	1.91	1.91	1.76	
	香川農試 府中分場	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
		3	1	6.10	6.04	4.37	4.26	
		3	3	6.48	6.42	4.81	4.64	
		3	7	3.46	3.35	3.12	3.02	
					-		(株)化学分析コンサルタント	
ネクタリン (露地) (果実) 平成17年度	フロアブル (10%) 1000倍 400L/10a 散布	青森植防	0	-	-	-	<0.1	<0.1
			3	1	-	-	0.4	0.4
			3	3	-	-	0.5	0.5
			3	7	-	-	0.3	0.3
		山梨 果樹試	0	-	-	-	<0.1	<0.1
			3	1	-	-	1.4	1.4
			3	3	-	-	1.2	1.2
			3	7	-	-	1.0	1.0
					(財)日本食品分析センター		シンジェンタ ジャパン(株)	
すもも (露地・無袋) (果実) 平成13年度	フロアブル (10%) 1000倍 300~400L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.13	0.12	0.10	0.10
			3	3	0.11	0.11	0.11	0.10
			3	7	0.04	0.04	0.06	0.06
		長野植防 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.06	0.06	0.09	0.09
			3	3	0.06	0.06	0.06	0.06
			3	7	0.04	0.03	0.05	0.05
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント	
うめ (露地) (果実) 平成17年度	フロアブル (10%) 1500倍 250~300L/10a 散布	群馬植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	1	0.4	0.4	0.5	0.5
			3	7	0.6	0.6	0.5	0.5
			3	14	0.6	0.6	0.3	0.3
		和歌山 植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			3	1	0.5	0.5	0.7	0.7
			3	7	0.3	0.2	0.2	0.2
			3	14	0.1	0.1	0.1	0.1

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					アゾキシストロビン					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
おうとう (施設) (果実) 平成8年度	フロアブル (10%) 1000倍 500L/10a 散布	福島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			3	1	0.82	0.81	0.89	0.88		
			3	3	1.30	1.30	1.16	1.10		
		長野植防 須坂 研究所	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	0.47	0.47	0.43	0.42		
			3	3	0.38	0.38	0.27	0.27		
			3	7	0.15	0.14	0.21	0.20		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
いちご (施設) (果実) 平成7年度 (栃木) 平成6年度 (埼玉)	フロアブル(20%) 1500~2000倍 300L/10a 散布 1000倍 100mL/株 土壌灌注	栃木植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	89	0.11	0.10	0.11	0.11		
			8	1	0.97	0.94	1.21	1.20		
			8	3	0.75	0.75	0.86	0.82		
			8	7	0.60	0.60	0.58	0.58		
	フロアブル (20%) 1500~2000倍 300L/10a 散布	埼玉植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			5	217	0.01	0.01	0.03	0.03		
			8	1	1.19	1.18	0.87	0.82		
			8	4	0.38	0.38	0.55	0.54		
			8	8	0.40	0.38	0.27	0.27		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成6年度	フロアブル(10%) 100倍 300~500L/10a 休眠期散布 1000倍 500L/10a 散布	秋田果試 天王分場	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			4	45	3.31	3.24	4.35	4.22		
			4	60	1.17	1.17	1.42	1.40		
		長野中信 農 試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	45	1.28	1.28	1.69	1.68		
			4	59	0.99	0.98	1.25	1.22		
			4	75	1.05	1.04	1.36	1.28		
ぶどう (施設・無袋) (果実) 平成20年度	フロアブル (10%) 1000倍 300L/10a 散布	石川植防	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
			3	14	0.2	0.2	0.2	0.2		
			3	28	0.5	0.5	0.6	0.6		
		京都丹後 農 研	0	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
			3	14	1.2	1.2	1.6	1.6		
			3	28	0.9	0.9	1.4	1.4		
			3	35	1.0	1.0	1.0	1.0		
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント			
かき (露地) (果実) 平成10年度	フロアブル (10%) 1000倍 岐阜:300L/10a 徳島:400L/10a 散布	岐阜植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			3	7	0.04	0.04	0.05	0.05		
			3	14	0.03	0.03	0.05	0.04		
		徳島植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.31	0.30	0.37	0.36		
			3	14	0.26	0.26	0.33	0.32		
			3	21	0.19	0.19	0.23	0.22		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 積 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)沖縄県環境科学センター		-	
バナナ (露地) (果実) 平成16年度	フロアブル (10%) 1000倍 200L/10a 散布	沖縄農試 宮古支場	0	—	<0.01	<0.01	-	-
			3	7	1.34	1.33	-	-
			3	14	1.21	1.18	-	-
			3	21	1.18	1.15	-	-
					(財)沖縄県環境科学センター		-	
グアバ (露地) (果実) 平成17年度	フロアブル (10%) 1000倍 139~222L/10a 散布	沖縄県病 害虫防除 所(恩納 村)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			3	5	0.14	0.12	-	-
			3	14	0.03	0.03	-	-
			3	21	0.02	0.02	-	-
					(財)沖縄県環境科学センター		-	
マンゴー (施設・無袋) (果実) 平成16年度	フロアブル (10%) 1000倍 200L/10a 散布	宮 崎	0	—	<0.2	<0.2	-	-
			1	1	0.5	0.5	-	-
			1	3	0.4	0.4	-	-
			1	7	0.4	0.4	-	-
					宮崎県総合農業試験場		-	
パッション フルーツ (露地) (果実) 平成12年度	フロアブル (10%) 1000倍 300L/10a 散布	東 京 都 八 丈 島	0	—	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
			3	1	0.36	0.33	0.31	0.30
			3	3	0.29	0.27	0.22	0.20
			3	7	0.09	0.09	0.06	0.06
					東京都農業試験場		(株)化学分析コンサルタント	
いちじく (露地・無袋) (果実) 平成13年度	フロアブル (10%) 1000倍 230~300L/10a 散布	愛知防除 西三河	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.25	0.25	0.22	0.22
			3	7	0.24	0.24	0.17	0.17
			3	14	0.23	0.22	0.25	0.25
					島根県農業試験場		(株)化学分析コンサルタント	
		島根農試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.58	0.58	0.48	0.48
			3	7	0.28	0.28	0.22	0.22
			3	14	0.19	0.19	0.15	0.15

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					アゾキシストロピン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					沖縄県環境科学センター		-	
ピタヤ (露地) (果実) 平成17年度	フロアブル (10%) 1000倍 188~200L/10a 散布	沖縄県病 害虫防除 所(具志頭 村)	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			3	1	1.44	1.42	-	-
			3	7	0.53	0.52	-	-
			3	14	1.07	1.06	-	-
		沖縄農試 八重山	0	—	<0.02	<0.02	-	-
			3	1	0.26	0.26	-	-
			3	7	0.40	0.37	-	-
			3	14	0.08	0.08	-	-
					香川農試		-	
オリーブ (露地) (果実) 平成19年度 平成20年度	フロアブル (10%) 1000倍 333~500L/10a 散布	香川農試	0	—	<0.05	<0.05	-	-
			2	14	2.40	2.37	-	-
			2	21	1.72	1.68	-	-
			2	28	1.17	1.16	-	-
		香川農試	0	—	<0.05	<0.05	-	-
			2	14	1.46	1.42	-	-
			2	21	1.12	1.08	-	-
			2	28	0.42	0.41	-	-
					香川農試		-	
オリーブ (露地) (葉) 平成19年度 平成20年度	フロアブル (10%) 1000倍 333~500L/10a 散布	香川農試	0	—	<0.05	<0.05	-	-
			2	14	26.6	26.2	-	-
			2	21	21.1	20.6	-	-
			2	28	8.75	8.67	-	-
		香川農試	0	—	<0.05	<0.05	-	-
			2	14	24.8	24.0	-	-
			2	21	11.2	10.7	-	-
			2	28	7.16	7.13	-	-

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジエンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効分量) 希 積 倍 数 又は使用量 使用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					(財)日本食品分析センター		(株)化学分析コンサルタント		
茶 (露地) (荒茶) 平成10年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	神 奈 川 農 総 試	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			3	7	10.6	10.5	11.0	10.2	
			3	14	4.77	4.75	4.57	4.56	
			3	21	1.52	1.51	1.40	1.38	
		三 重 植 防	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			3	7	7.96	7.78	7.63	7.44	
			3	14	2.64	2.62	2.03	2.02	
		三 重 植 防	3	21	1.18	1.17	0.96	0.95	
			奈 良 農 試	0	—	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02
				3	7	1.73	1.71	1.44	1.41
		3		14	0.80	0.80	0.59	0.58	
		3		21	0.27	0.26	0.20	0.20	
高 知 農 技 セ ン タ ー	0	—	0.06	0.06	0.06	0.06			
	3	7	13.2	13.1	10.3	9.93			
	3	14	3.54	3.46	3.30	3.09			
高 知 農 技 セ ン タ ー	3	21	0.67	0.66	0.54	0.53			
	神 奈 川 農 総 試	0	—	-	-	<0.01	<0.01		
		3	7	-	-	6.40	6.32		
3		14	-	-	2.52	2.50			
3		21	-	-	0.57	0.57			
三 重 植 防	0	—	-	-	<0.01	<0.01			
	3	7	-	-	4.51	4.40			
	3	14	-	-	1.35	1.34			
三 重 植 防	3	21	-	-	0.65	0.64			
	奈 良 農 試	0	—	-	-	<0.01	<0.01		
		3	7	-	-	1.06	1.04		
3		14	-	-	0.42	0.42			
3		21	-	-	0.17	0.17			
高 知 農 技 セ ン タ ー	0	—	-	-	0.02	0.02			
	3	7	-	-	6.57	6.50			
	3	14	-	-	1.31	1.28			
高 知 農 技 セ ン タ ー	3	21	-	-	0.29	0.28			
	山 形 農 総 研					-			
	ホップ (露地) (莖花) 平成20年度	粒剤 (2.0%) 20g/1株 散布	岩 手 農 研	0	—	<1	<1	-	-
1				0	<1	<1	-	-	
1				10	<1	<1	-	-	
1				20	<1	<1	-	-	
山 形 農 総 研			0	—	<1	<1	-	-	
			1	0	<1	<1	-	-	
			1	10	<1	<1	-	-	
			1	20	<1	<1	-	-	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)			
					公的機関		社内機関	
					アゾキシストロビン			
					最高値	平均値	最高値	平均値
					高知県農業技術センター		-	
しそ (施設) (葉) 平成14年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 株元散布	愛知県豊橋市	0	-	<0.04	<0.04	-	-
			2	1	0.11	0.10	-	-
			2	3	<0.04	<0.04	-	-
		愛知県一宮町	2	1	<0.04	<0.04	-	-
			2	3	0.04	0.04	-	-
			2	7	<0.04	<0.04	-	-
					高知県農業技術センター		-	
しそ (施設) (葉) 平成25年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布	愛知県豊川市	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			2	1	39.7	39.3	-	-
			2	3	25.6	25.2	-	-
		高知県高知市	0	-	<0.01	<0.01	-	-
			2	1	52.6	52.4	-	-
			2	3	36.3	36.3	-	-
					-		(株)化学分析コンサルタント	
あさつき (露地) (茎葉) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 150~200L/10a 散布	山形県砂丘地農試	0	-	-	-	<0.1	<0.1
			4	3	-	-	1.5	1.5
			4	7	-	-	0.2	0.2
		福島植防	4	14	-	-	<0.1	<0.1
			4	3	-	-	0.8	0.8
			4	7	-	-	0.4	0.4
					-		0.2 0.2	
					(財)日本食品分析センター		-	
みょうが (施設) (花穂) 平成16年度	フロアブル (20%) 2000倍 3000L/10a 灌注	高知県農技セ(須崎)	0	-	<0.05	<0.05	-	-
			4	3	0.51	0.50	-	-
			4	7	0.14	0.14	-	-
		高知県農技セ(芸西)	4	14	0.08	0.08	-	-
			0	-	<0.05	<0.05	-	-
			4	3	0.35	0.34	-	-
					-		0.16 0.16	
					0.06 0.06		-	
					-		(株)化学分析コンサルタント	
みょうが (施設) (花穂) 平成19年度	粒剤(2%) 18kg/10a 散布 フロアブル (20%) 2000倍 3L/m ² 土壌灌注	日植防高知	0	-	-	-	<0.5	<0.5
			4	3	-	-	2.2	2.2
			4	7	-	-	0.6	0.6
		高知農技セ	4	14	-	-	<0.5	<0.5
			0	-	-	-	<0.5	<0.5
			4	3	-	-	1.1	1.0
					-		<0.5 <0.5	
					-		<0.5 <0.5	
					-		<0.5 <0.5	
					-		<0.5 <0.5	
					島根県農業試験場		山口県農業試験場	
畑わさび (花及び花茎を除く) (施設) (茎葉) 平成15年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	島根農試	0	-	<0.03	<0.03	-	-
			2	7	5.99	5.86	-	-
			2	14	3.21	3.06	-	-
			2	28	1.76	1.74	-	-
		山口農試	0	-	-	-	<0.02	<0.02
			2	7	-	-	11.9	11.8
					-		9.95 9.93	
					-		8.19 8.05	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年 度	剤 型 (有効成分量) 希 釈 倍 数 又 は 使 用 量 使 用 方 法	試 料 調 査 製 場 所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
					島根県農業試験場		山口県農業試験場		
畑わさび (花及び花茎を 除く) (施設) (根茎) 平成15年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	島根農試	0	-	<0.03	<0.03	-	-	
			2	7	0.57	0.55	-	-	
			2	14	0.85	0.82	-	-	
			2	28	0.45	0.44	-	-	
		山口農試	0	-	-	-	<0.04	<0.04	
			2	7	-	-	0.75	0.73	
			2	14	-	-	0.40	0.40	
			2	28	-	-	0.42	0.42	
					島根県農業試験場		-		
畑わさび (岩手：露地) (島根：施設) (花及び花茎) 平成19年度	フロアブル (20%) 2000倍 300~320L/10a 散布	岩手農研	0	-	<0.05	<0.05	-	-	
			2	7	1.54	1.52	-	-	
			2	14	0.07	0.07	-	-	
			2	28	<0.05	<0.05	-	-	
		島根農試セ	0	-	<0.05	<0.05	-	-	
			2	7	7.33	7.16	-	-	
			2	14	2.25	2.18	-	-	
			2	28	0.20	0.19	-	-	
					(社)長野県農村工業研究所		-		
せんぶり (露地) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 300L/10a 散布	長野県 野菜花き 試験場	0	-	<0.05	<0.05	-	-	
			3	7	14.9	14.8	-	-	
			3	14	14.4	14.3	-	-	
		佐久支場	3	21	10.4	9.92	-	-	
			長野県 野菜花き 試験場	0	-	<0.05	<0.05	-	-
				3	7	2.20	2.17	-	-
		3		14	3.71	3.65	-	-	
		佐久支場	3	21	2.62	2.55	-	-	
					福岡県農業総合試験場		-		
モロヘイヤ (露地) (茎葉) 平成20年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布		福岡農総試 (小郡市)	0	-	<0.50	<0.50	-	-
		4		1	13.4	12.8	-	-	
		4		7	8.67	8.36	-	-	
		株元/日本医薬中央研究所	4	14	1.65	1.50	-	-	
			福岡農総試 (大刀洗町)	0	-	<0.01	<0.01	-	-
				4	1	4.30	4.02	-	-
		4		7	0.06	0.06	-	-	
		4	14	<0.01	<0.01	-	-		
					高知県農業技術センター		-		
はなにら (施設) (花茎) 平成21年度	フロアブル (20%) 2000倍 200L/10a 散布		高知県 匹万十町	0	-	<0.05	<0.05	-	-
		2		1	1.27	1.26	-	-	
		2		3	0.46	0.46	-	-	
		2	7	0.20	0.20	-	-		
			高知県 南国市	0	-	<0.05	<0.05	-	-
				2	1	1.95	1.94	-	-
		2		3	1.91	1.90	-	-	
		2	7	1.11	1.11	-	-		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(参考資料)

代謝物*の作物残留

(1)分析法の原理および操作概要

：

[公的分析]

[社内分析]

[公的分析]

[社内分析]

* : 代謝物のコード番号については代謝分解物一覧にまとめた。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

[公的分析]

[社内分析]

[公的分析]

[社内分析]

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はシンジェンタジャパン株式会社にある。

(2)分析対象の化合物

(3)残留試験結果
次頁に示す。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤 (有効成分) 希釈倍率 又は使用 方法	型 (分析部位) 製薬所	経過日 使用回数	公的 分析機関		社内 分析機関		合計
				(財)日本食品分析センター		南化学分析コンサルタント		
				アンキストロビン 最高値	平均値	アンキストロビン 最高値	平均値	
水稲 (玄米) 平成7年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	日植防 高	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
水稲 (稲わら) 平成7年度	粒剤(1.5%) 4kg/10a 散布	日植防 高	0	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			4	0.72	0.72	0.58	0.58	
			4	0.62	0.62	0.84	0.84	
			4	0.39	0.38	0.54	0.54	
水稲 (玄米) 平成7年度	粒剤(6%) 50g/箱 箱施用	鹿兒島 植	0	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			4	0.97	0.96	1.00	0.99	
			4	0.45	0.44	0.54	0.52	
			4	0.35	0.34	0.36	0.36	
水稲 (玄米) 平成7年度	粉剤(0.6%) 4kg/10a 散布	日植防 高	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			4	0.01	0.01	0.01	0.01	
			4	0.01	0.01	0.01	0.01	
			4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
水稲 (稲わら) 平成7年度	粉剤(0.6%) 4kg/10a 散布	鹿兒島 農	0	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			4	1.15	1.14	1.04	1.03	
			4	0.64	0.62	0.59	0.56	
			4	0.24	0.24	0.22	0.22	
水稲 (稲わら) 平成7年度	鹿兒島 農	鹿兒島 農	0	<0.04	<0.04	<0.02	<0.02	
			4	0.55	0.54	0.55	0.54	
			4	0.38	0.37	0.48	0.47	
			4	0.29	0.28	0.24	0.23	
合計								

1): 数値はアンキストロビン換算値を示す。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤名 (有効成分) 希釈回数 又は使用 方法	試験圃 製場所	経過日数	公的分析機関		社内分析機関		合計
					アノキストロビン 最高値	アノキストロビン 平均値	アノキストロビン 最高値	アノキストロビン 平均値	
小麦 (種子) 平成6年度	7077 W(20%) 原液8ml/kg 種子処理 800倍 100g/10a 根雪前散布	0 2 5 5 5	北海道 北防 植	— 237 7 14 21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					0.01	0.01	0.02	0.02	
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
いちご (施設) (果実) 平成6年度	7077 W(20%) 1500~2000倍 300g/10a 散布 1000倍 100ml/株 土壌灌注	0 5 8 8 8	栃木 防 植	— 89 1 3 7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					0.11	0.11	0.11	0.11	
					0.97	0.94	1.21	1.20	
					0.75	0.75	0.86	0.82	
					0.60	0.60	0.58	0.58	
いちご (施設) (果実) 平成6年度	7077 W(20%) 1500~2000倍 300g/10a 散布	0 5 8 8 8	埼玉 防 植	— 217 1 4 8	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					1.19	1.18	0.87	0.82	
					0.38	0.38	0.55	0.54	
					0.40	0.38	0.27	0.27	
					0.38	0.38	0.27	0.27	

1): 数値はアノキストロビン換算値を示す。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用 方法	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	公的分析機関		社内分析機関		合計
					アノキストロビン		アノキストロビン		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
きゅうり (施設) (果実) 平成6年度	7077*W(20%) 1000倍 100ml/株 株元灌漑 1500倍 150~300ℓ /10a 散布	日植防 牛久	0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	46	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.18	0.18	0.20	0.20	0.20
			4	3	0.08	0.08	0.09	0.08	0.08
			4	7	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
			5	1	0.16	0.16	0.14	0.14	0.14
			5	3	0.09	0.08	0.07	0.07	0.07
			5	7	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	85	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.01
			4	1	0.50	0.48	0.41	0.41	0.41
			4	3	0.11	0.11	0.27	0.27	0.27
			4	7	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
			5	1	0.25	0.25	0.20	0.20	0.20
			5	3	0.10	0.10	0.16	0.16	0.16
5	7	0.03	0.02	0.06	0.06	0.06			
メロン (施設) (果実) 平成7年度	7077*W(20%) 2000倍 300ℓ/10a 散布	日植防 牛久	0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
ナシ (施設) (果実) 平成7年度	7077*W(20%) 2000倍 168~300ℓ /10a 散布	日植防 牛久	0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
4	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			

1): 数値はアノキストロビン換算値を示す。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤名 (有効成分) 希釈倍数 又は使用 方法	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	公的分析機関		分析結果 (ppm)		社内分析機関		合計
					(株)日本食品分析センター		アズキストロビン		アズキストロビン		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
なす (施設) (果実) 平成7年度	7077*(20%) 2000倍 3000/10a 散布	群馬防 植	0 4 3 7	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					0.22	0.22	0.27	0.26	0.10	0.10	
					0.12	0.12	0.10	0.10	0.05	0.05	
					0.05	0.04	0.05	0.05			
根菜ねぎ (露地) (葉菜) 平成7年度	7077*(20%) 2000倍 180~300ℓ /10a 散布	群馬防 植	0 4 4 4	-	/	/	/	/	/	/	
					/	/	0.96	0.96	0.32	0.32	
					/	/	0.19	0.18	0.12	0.12	
					/	/	0.05	0.04	0.05	0.04	
葉ねぎ (露地) (葉菜) 平成7年度	7077*(20%) 2000倍 3000/10a 散布	京都農 総研	0 4 4 4	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
					1.23	1.22	1.00	1.00	1.08	1.02	
					1.43	1.42	0.62	0.61	0.22	0.22	
					0.35	0.34	0.09	0.08	0.07	0.07	

1): 数値はアズキストロビン換算値を示す。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年	剤型 (有効成分) 希釈 又は使用 方法	試験圃 製場所	使用回数	経過日数	公的分析機関		社内分析機関		合計
					アンキストロピン 最高値	アンキストロピン 平均値	アンキストロピン 最高値	アンキストロピン 平均値	
					(財)日本食品分析センター				
りんご (無袋) (果実) 平成6年度	7077 μ (10%) 1000倍 500 μ /10a 散布	福防 福植	0 5 5 5	-- 14 28 42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					1.35	1.33	1.74	1.74	1.74
					1.38	1.36	1.21	1.20	0.68
日本なし (無袋) (果実) 平成7年度	7077 μ (10%) 1000倍 500 μ /10a 散布	三取 枝 ケンタ	0 5 5 5	-- 14 28 42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					0.60	0.60	0.57	0.56	0.40
					0.46	0.45	0.40	0.38	0.24
ぶどう (施設・ 無袋) (果実) 平成6年度	7077 μ (10%) 100倍 300~500 μ /10a 休耕期散布	秋田果 試天王 分	0 4 4 4	-- 45 60 75	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					3.31	3.24	4.35	4.22	1.42
					1.17	1.17	1.42	1.40	0.24
ぶどう (施設・ 無袋) (果実) 平成6年度	1000倍 500 μ /10a 散布	長野中 信農試	0 4 4 4	-- 45 59 75	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					1.28	1.28	1.69	1.68	1.25
					0.99	0.98	1.25	1.22	1.36

1) 数値はアンキストロピン換算値を示す。

アンキシストロビンと の残留値

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤 (有効成分) (希釈又は使用)	型 (分量) 数 量 法	試 製 場 所	調 査 日 数	使 用 回 数	分析結果 (ppm)											
						公的分析機関			社内分析機関								
						アンキシストロビン		合計		アンキシストロビン		合計					
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
キャベツ (露地) (菜株) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 200~300L/10a 散布	2000倍	石川植防	-	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
				1	4	0.04	0.04	0.13	0.13	0.13	0.13	0.44	0.44				
				3	4	0.08	0.08	0.13	0.13	0.22	0.22	0.44	0.44				
				7	4	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.22	0.22				
				14	4	0.03	0.03	0.01	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03				
				-	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				1	4	0.61	0.60	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44			
				3	4	0.85	0.84	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22			
				7	4	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
				14	4	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				ねぎ (露地) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 70~300L/10a 散布	2000倍	石川植防	-	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
								1	4	2.33	2.32	3.01	2.76	2.76	2.76	2.76	2.76
								3	4	2.21	2.20	2.40	2.31	2.40	2.31	2.40	2.31
								7	4	1.10	1.10	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
14	4	0.21	0.20					0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18				
-	0	<0.01	<0.01					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
1	4	1.62	1.60					1.36	1.35	1.36	1.35	1.36	1.35				
3	4	0.44	0.43					0.52	0.48	0.52	0.48	0.52	0.48				
7	4	0.29	0.28					0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38				
14	4	0.07	0.07					0.09	0.08	0.09	0.08	0.09	0.08				
ねぎ (露地) (茎葉) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 70~300L/10a 散布	2000倍	日植防 (高知)					-	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
								1	4	1.62	1.60	1.36	1.35	1.36	1.35	1.36	1.35
								3	4	0.44	0.43	0.52	0.48	0.52	0.48	0.52	0.48
								7	4	0.29	0.28	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
				14	4	0.07	0.07	0.09	0.08	0.09	0.08	0.09	0.08				
				-	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
				1	4	1.62	1.60	1.36	1.35	1.36	1.35	1.36	1.35				
				3	4	0.44	0.43	0.52	0.48	0.52	0.48	0.52	0.48				
				7	4	0.29	0.28	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38				
				14	4	0.07	0.07	0.09	0.08	0.09	0.08	0.09	0.08				

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤 (有効成分量) 希釈倍数量法 又は使用方	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)				合計
					公的分析機関		社内分析機関		
					アゾキシストロビン	アゾキシストロビン	アゾキシストロビン	アゾキシストロビン	
					最高値	平均値	最高値	平均値	
ピーマン (施設) (果実) 平成17年度	フロアブル (20%) 2000倍 80~230L/10a 散布	日植防 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.67	0.66	0.73	0.73	
			4	3	0.54	0.54	0.79	0.78	
		4	7	0.27	0.26	0.51	0.51		
		4	14	0.11	0.11	0.14	0.14		
		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
きゅうり (施設) (果実) 平成17年度	フロアブル (20%) 1500倍 200~300L/10a 散布	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	1	0.28	0.28	0.24	0.24	
			4	3	0.13	0.13	0.13	0.13	
		4	7	0.05	0.05	0.05	0.05		
		4	14	0.02	0.02	0.01	0.01		
		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
ネクタリン (露地) (果実) 平成17年度	フロアブル (10%) 1000倍 400L/10a 散布	青森植防	0	-	-	-	-	-	-
			3	1	*	*	*	*	
			3	3	*	*	*	*	
		3	7	-	-	-	-		
		3	14	-	-	-	-		
		0	-	-	-	-	-		
山梨果試		山梨果試	0	-	-	-	-	-	-
			3	1	*	*	*	*	
			3	3	*	*	*	*	
		3	7	-	-	-	-		
		3	14	-	-	-	-		
		0	-	-	-	-	-		